

令和7年度第1回佐賀市立図書館協議会

令和7年10月2日(木) 15:00～

佐賀市立図書館2階 多目的ホール

会 次 第

1. 委嘱状交付

2. 館長挨拶・職員紹介

3. 協議会

(1) 会長挨拶

(2) 副会長選出

(3) 議事

① 前回協議会報告

② 令和6年度の図書館事業報告

③ 令和7年度重点事業の経過報告

佐賀市立図書館協議会委員名簿

(任 期) 令和5年12月1日～令和7年11月30日

No.	種 別		氏 名	備 考
1	会長	推薦	しらね けいこ 白根 恵子	佐賀女子短期大学 名誉教授
2	委員	推薦	よこやま ちはる 横山 千晴	佐賀市立三瀬中学校 校長
3	委員	推薦	あらき けん 荒木 健	佐賀市 PTA 協議会
4	委員	推薦	おおつか あつこ 大塚 敦子	図書館を友とする会・さが
5	委員	推薦	はらだ たかひろ 原田 隆博	佐賀新聞社
6	委員	一般公募	うめざき よしたか 梅崎 義高	
7	委員	一般公募	たかはら ようこ 高原 陽子	
8	委員	一般公募	いのうえ あきよ 井上 章代	
9	委員	一般公募	ふくだ えみ こ 福田 重満子	
10	委員	一般公募	ほりかわ ちあき 堀川 千晶	

図書館協議会関係法令

『図書館法』（抄）

（図書館協議会）

第14条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第15条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会(特定図書館に置く図書館協議会の委員にあつては、当該地方公共団体の長)が任命する。

第16条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

『佐賀市立図書館条例』（抄）

（図書館協議会）

第9条 法第14条の規定に基づき、図書館に佐賀市立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、15人以内の委員をもって組織する。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、及び学識経験のある者並びに公募した者の中から、教育委員会が任命する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

『佐賀市立図書館条例施行規則』（抄）

（図書館協議会）

第16条 条例第9条に規定する佐賀市立図書館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。(平12教委規則7・旧第15条繰下)

（会議）

第17条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。(平12教委規則7・旧第16条繰下)

（庶務）

第18条 協議会の庶務は、図書館において処理する。(平12教委規則7・旧第17条繰下)

議事①: 前回協議会報告

1. 議事録

別添のとおり

2. 対応を行った案件

(1) わかりやすい案内表示について(総務企画係・サービス二係)

【指摘内容】

- ・小学校1年生の子どもが図書館で折り紙の本を探す際に、まず自分で探してみて、わからなければ図書館の人に聞くように伝えた。結局自分では見つけられず、どの人に尋ねてよいかわからなかったということだった。大人の意見としては、カウンターにいる人やエプロンをしている人に尋ねればよいと勝手に思っていたが、子どもからしたらみんな大人で、どの人に聞いたらよいかわからないのだと感じた。これは、障がいのある方や日本語を母国語としない方などにも共通する意見なのかもしれない。
- ・誰に聞いたらよいのか、という案内はとても大切だと思う。困ったときは誰に聞けばよいのか、やさしい日本語で案内があればよいのではないかと思った。

【対応状況】

- ・子どもに職員がわかるように、「聞きたいことがあるときは青いエプロンのひとにきいてね」という表示のイラスト入りポスターを児童カウンター前面に掲示した。また、児童カウンターに掲示している「こども相談カウンター」の案内をわかりやすい内容に変更した。
- ・天井から下げている表示「児童郷土」「SF・推理小説」などが漢字で書かれているので、にフリガナをつけたり、わかりやすい日本語の表示を作成したりする予定である。

3. 継続対応中の案件

(1) 障がい者向けサービスについて(サービス一係)

【指摘内容】

- ・宅配サービスの周知強化を行って欲しい。

【対応状況】

- ・現在は、サービス内容について図書館のホームページや市報において周知している。また、市が作成し、障がい者の方へ配布している冊子「障がい者福祉サービスのご案内」の中でも「図書等の宅配郵送サービスについて」案内を行っている。
- ・今後もサービスが必要な方へ情報が届くよう工夫しながら周知を図っていきたい。

議事①：前回協議会報告

(2) 利用者等へのインタビュー調査について(総務企画係・サービスイ係・サービスニ係)

【指摘内容】

- ・利用者から意見を聞き取りするためにインタビュー調査を行ってはどうか。また、市内に多くの外国籍の方がいるが、その方たちの希望を聞き取りする取り組みを行ってはどうか。

【対応状況】

- ・読書バリアフリーに関する計画を策定したり、外国籍の方へのサービスを再検討したりするにあたり、個別に当事者の方々に意見を伺う場が必要だと考えている。

(3) シンポジウムの開催について(総務企画係)

【指摘内容】

- ・「図書館を語る会」のようなシンポジウムを開き、色々な立場の人から図書館に対する思いや利用の仕方などを語ってもらうような機会をつくっても良いのではないか。

【対応状況】

- ・ボランティアの皆様や市民の皆様と図書館について語り合う意見交換会等の開催も検討していきたい。

4. 大規模改修に関する意見

① 展示スペースについて

- ・2階で展示を行ったが、わざわざ2階まで上がって展示に来てくれる方が少なかった。1階で展示ができると、通るついでに見てくれる人もいると思う。有料でもいいので1階や閲覧室内などに展示ができるスペースがあればいいなと感じた。何か1階に皆さんの作品など展示できるスペースが少しでもあれば嬉しい。
- ・1階のスペースでそういった展示があると、2階の本展示にも興味を持つ人が出てくるかもしれない。

② ボランティアについて

- ・地域に根差した図書館ということであれば、もっとボランティアの活用に積極的であってほしい。
- ・今度の大規模改修の際も、ボランティアの活動をもっと広げるように考えていくとよいと思う。そういう目で見えていくと凄く面白い図書館になるのではないかなと思う。

③ 子どもの利用について

- ・小中学生にこそ本に出会って、親しんで欲しいと感じるが、ゲームに夢中の子供が多い世の中であり、ゲームは音が出る=図書館とは相容れない存在となっている。ゲームはAIに情報が操作されて、自分の趣味・指向に向けたものしか入ってこないが、図書館は思いがけない情報や本を手にし

議事①：前回協議会報告

たり、出会ったりできるきっかけとなり得る存在である。「子供の成長に役立つ図書館」に向けて、ゲームを好む子供でも来館しやすい、ハードルの低い環境づくりをお願いしたい。

- ・DVや児童虐待について、特に子どもは携帯も持たず、助けを求めにくいケースが多いことから、図書館に警察、民生委員、スクールカウンセラー等のプロ市民が定期的に来てもらうようにして、その来館日時を表示するような仕組み作りが出来ないだろうか。

【その他 施設・設備に関する要望】

- ・2階書架へのアクセス、授乳室、トイレの洋式化等。
- ・安全性や緊急性を要する部分については、大規模改修を待たず早急に対応していただきたい。
- ・今の一階の照明について、黄緑っぽい色をしている。もし普通の色にできるならそうして欲しい。
- ・バスケットボール用のゴールを一基公園に設置するなどしても良いのではないかと感じた。公園で運動して疲れたら本を読みに来るなど出来るのではないかと感じた。

【その他 ソフト面に関する要望】

- ・大規模改修について非常に期待している。図書館について力を入れている自治体も沢山あるので、モデルになる図書館も多いと思う。今の図書館の良いところも沢山あるので、あまり奇抜な方向に走らずに検討して頂ければと思う。
- ・「多様な人々が集う図書館」として、本と人が出会うだけでなく、人と人が出会う場所になって欲しいと思う。
- ・これからの世の中高齢化が進むし、高齢者にとって図書館はサードプレイスというよりセカンドプレイスという意味合いが強いとも感じている。子どもに対する施策も大事だが、こちらの施策も検討していただけたらと思う。
- ・行きたい図書館にするためには、楽しくないと駄目だと思う。その楽しさというのは、職員の皆さんが自分の楽しさを前面に出せている場所が、楽しい図書館なのだと思う。佐賀市立図書館は、子どものスペースはすごく楽しいと思う。色々工夫されていて、子どもも楽しく利用している。しかし、郷土コーナーや郷土の作家コーナーなど、大人のスペースは少し寂しく感じる。そこには図書館職員の顔などは全然出ていないような気がする。
- ・全ての仕事を同時に同じだけ進める必要はないと思う。皆で話し合い、遅れてもよい仕事、仕訳してよい事業などを整理して、楽しさが出てくるような図書館にしようと思う。
- ・大規模改修の建築士は既に決まっているか。テレビを見ていて、佐賀県出身の建築士で非常に感銘を受けた方がいた。図書館のリニューアルを行った際に、建築士がおはなしボランティアの要望を聞く場を設けたりされていた。そういう機会が今回のリニューアルでもあれば参加したい。

議事②:令和6年度の図書館事業報告

別添資料

「令和6年度佐賀市立図書館事業計画の実施報告」
をご参照ください。

議事③:令和7年度重点事業の経過報告

「令和7年度重点事業の経過報告」の
資料は当日配布させていただきます。

令和6年度第2回佐賀市立図書館協議会 議事録

開催日時:令和7年3月21日(金)14時30分~15時30分

開催場所:佐賀市立図書館2階 多目的ホール

出席者:【委員:9名】

白根会長、家永委員、荒木委員、大塚委員、原田委員
梅崎委員、高原委員、井上委員、福田委員
(欠席:堀川委員)

【事務局:8名】

八谷館長、増本副館長、江里ロサービス一係長、中島サービス二係長、
宮崎大和分館長、大塚諸富分館長兼川副分館長、
江頭東与賀分館長兼久保田分館長、副島富士分館長兼三瀬分館長、

【傍聴者:3名】

1. 開会

2. 館長挨拶

皆さんこんにちは、館長の八谷でございます。本日は、ご多用の中、ご出席いただき、ありがとうございます。

本日の協議会でございますが、来年度、令和7年度の主な事業計画等を説明させていただきます。委員のみなさまからの御意見や御審議を賜り、市民と共に育つ図書館として、事業を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、図書館大規模改修におきましては、現在、基本設計を行っております。本日は、1階や2階の考え方やゾーニングの素案について、説明をいたします。これから30年先も、多くの市民に利用され、愛され続ける図書館になるよう、設計を進めているところでございます。みなさまからの多数のご意見を頂戴できればと思っております。

令和7年度も市民に寄り添った、図書館サービスのさらなる充実につなげていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

3. 協議会

(1) 会長挨拶

(白根会長)

委員の皆様、今日はお忙しいなか、足をお運び頂きましてありがとうございます。

今日はとても暖かいですが、数日前は雪が降ったところもありました。気候も世界情勢も国会も乱調ということで、本当に予測不能な時代になっているような気がします。

そのような中で、図書館の存在というのは大変重要だと思っておりますが、なかなか図書館というシステムの重要さというのは一般認知されにくい状況にあるかなと思います。

その点で、この佐賀市立図書館の今度の大規模改修によって、多くの市民が図書館というもの

に目覚めてくれればいいなあと期待しているところです。

(2) 議事

①前回協議会報告

【事務局からの説明】

(事務局)

- ・前回協議会は、令和6年9月11日に開催された。
- ・議題については、「前回協議会報告」、「令和5年度の図書館事業報告」、「令和6年度重点事業の経過報告」であり、内容は、別紙議事録のとおりである。
- ・前回の協議会でいただいた意見への対応状況については、協議会資料の4ページから5ページに記載している。
- ・(1) 外国語の利用案内については、市の国際課、佐賀県国際交流プラザ、佐賀大学等に、日本語版と複数の外国語版の利用案内の設置依頼を行った。
- ・(2) 館内案内の多言語/やさしい日本語対応については、トイレの緊急呼出ボタンについて、流水ボタンと誤認されて押されることが多いため、「水を流す」ボタンと「緊急呼び出しボタン」について、ふりがなと英語表記を行った。児童コーナーの表示において、漢字熟語などわかりにくいものについては、やさしい日本語へ表現を変えてひらがな表記とした。
- ・(3) わかりやすい案内表示については、子どもに職員がわかるように、「聞きたいことがあるときは青いエプロンのひとにきいてね」という表示のイラスト入りポスターを児童カウンター前面に掲示した。児童カウンターに掲示している「こども相談カウンター」の案内をわかりやすい内容に変更した。天井から下げている表示「児童郷土」「SF・推理小説」などが漢字で書かれているので、フリガナをつけたり、わかりやすい日本語の表示を作成したりする予定。
- ・3. 継続対応中の案件については、協議会資料の5ページから6ページをお願いする。こちらについては、前回から対応状況の変更点はないため、説明を省略させていただく。
- ・4. 大規模改修に関する意見については、協議会資料の6ページから7ページをお願いする。前回の意見としては、佐賀県出身の建築士のことや、楽しさが出てくる図書館についてご意見をいただいた。これらについては、大規模改修において考慮し、検討させていただきながら取り組んでいく。

【質疑・意見】

(委員)

- ・前回協議会での意見に対して、エプロンのひとにたずねるポスターを作っていただきお礼をいいたい。

(白根会長)

- ・前回協議会で外国語資料が5,000点ほどあるが利用が少ないと聞いた。コンビニなどに多言語の資料が図書館にある旨のチラシを置いてもいいのではないかな。

②令和7年度佐賀市立図書館事業計画について

【事務局からの説明】

(事務局)

- ・「令和7年度 佐賀市立図書館事業計画」について説明する。資料8ページの中ほどに「令和7年度の重点事業」を掲げている。
- ・二重丸の「電子図書館システム運用管理事業」と「本館大規模改修事業」、そして、その下の4つの白丸を合わせた6つの事業を「令和7年度の重点事業」として実施していく。
- ・これらの事業については、資料15ページから20ページに事業の実施目的や課題、留意点などを記載した「令和7年度佐賀市立図書館重点事業管理票」に基づき、進めていく。
- ・時間も限られているため、重点事業の中でも特に優先すべき二重丸の「電子図書館システム運用管理事業」と「本館大規模改修事業」について説明する。

○「電子図書館システム運用管理事業」(P18)

- ・一昨年、令和5年6月から、佐賀市電子図書館の試験導入を行っている。
- ・佐賀市電子図書館は、「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」という観点で、特に「全ての子ども達が、障がいの有り無しに関係なく、気軽に読書に親しめるようになる」ことを目指す姿としている。
- ・そこで、掲載する資料は子ども向けのものを中心に選書を行い、また、市立の小中学生には専用のアカウントを全員に発行して、さらに、学校で使用するパソコンには、デスクトップ画面に佐賀市電子図書館のショートカットを設けて、いつでも簡単に利用できるようにしている。
- ・電子書籍の所蔵数については、試験導入開始時は商用電子書籍が約450点、郷土資料や行政資料などの独自資料が約1,000点だったが、現在は、商用電子書籍が825点、独自資料が1,085点となっている。
- ・商用電子書籍が大幅に増加した理由は、企業や団体からの寄付によるものである。
- ・令和5年度は株式会社エンターアイ様と佐賀銀行様から33点、本年度は佐賀南ロータリークラブ様から190点の寄付をいただいている。
- ・利用状況については下の成果指標欄のとおりである。本年度は12月時点で、既に前年度の利用実績を超えている。
- ・2年間の試験運用で、事業の方向性や取り組み方などが分かってきたので、引き続き電子図書館システムは運用していくこととした。
- ・なお、運用にあたっては、重点事業管理票の上の方、「本年度の事業を進めていく上での課題や留意点など」に記載のとおり進めていく。

○「本館大規模改修事業」(P19)

- ・本年度の第1回の協議会で、基本構想・基本計画を示し、経過報告を行ったが、本日はその後の状況について報告と説明をする。
- ・昨年10月に基本設計等業務委託についての公募を行い、4つの共同企業体から参加表明がなされた。

- ・公募要領に基づき、まず図書館と建築住宅課による書類審査で3つの企業体に絞った。次に、市職員2名と外部の有識者3名で構成する審査委員会により、対面形式でのプレゼンテーション審査を実施して、最優秀提案者を決定した。
- ・最優秀提案者は「青木茂建築工房・乃村工藝社・poco a bocca・ARP共同企業体」で、業務委託契約を締結して事務作業に入っている。
- ・現在、建物の改修にかかる基本設計の協議を進めるとともに、リニューアル後の図書館に新たな利用者を呼び込むための機能や体験の導入、ソフト面の充実、施設の柔軟な運用など、建物管理とサービス提供に関する管理・運営についての方針策定に向けた調査を行っている。
- ・本日は、追加資料として配布した「SAGA LIBRARY PARK(佐賀市立図書館大規模改修)基本設計ゾーニング(素案)」に沿って、基本設計の考え方とゾーニングの素案について説明する。
- ・基本設計の考え方については、基本構想・基本計画を踏まえて、「佐賀市の未来を育む図書館」「サードプレイスの居場所」となるように設計を進めていく。
- ・基本設計における市民の声への対応について、屋内は椅子やベンチの配置でゆっくりと過ごせる空間を生み出すことや、子ども連れで過ごしやすい環境づくりなど、屋外については、公園と図書館の往来をスムーズにし、北駐車場からの利便性の向上などに対応していく。
- ・1階と2階の考え方について、1階は公園や外部と接するため、おしゃべりなどが許容され、賑わいのある空間として、多様な人が自由に集い、のびのびと過ごせるサードプレイスとしての場所にしていきたい。特に、新たな利用者を生み出すために、本だけでなく、モノやコト、ヒトと出会える場所であり、出会いや体験を通して、本に興味を持つきっかけを生み出す場としていきたい。
- ・2階は、これまでの図書館の魅力を引き継ぎ、集中して本と向き合える静かな場所としたい。本を中心としたフロアにし、知の宝庫としての役割を担う。
- ・各階においては、本を好きにさせてくれる「知」を創り出す4つの要素として、情報や本、ヒトに出会う「きっかけ」を作る場、「体験」や活動を育む場、活動を発表して「興味」につながる場、次の興味へとつなげる「実践」の場を配置していく。
- ・2ページからは、ゾーニングの素案を記載している。建物全体として大きく変わる予定は、太字の部分であり、出入口やエレベーターの場所を変更すること、中央に階段を設置し2階への自然な流れをつくること、にぎやかなスペースを出入口付近に配置すること、公園や道路が見える窓側に椅子やベンチを配置することである。
- ・まず、1階部分について説明する。1階はサードプレイスとしての役割を担い、人が集まり、おしゃべりができる場を配置する。上(北側)の真ん中、北駐車場側にメインエントランスを新たに設置することで、北駐車場からの出入りが便利になる。
- ・エントランスを入ったすぐの黄色部分にはカフェを配置し、図書館にくるきっかけをつくる。友人と飲み物を飲んだり、おしゃべりしたり、ゆっくりと過ごせる場と考えている。
- ・また、左側のブルーの場所は、子どものコーナーを配置し、駐車場から入ってすぐに本に触れ合えたり、親子で会話を楽しんだりできるようにする。
- ・エントランスから目につきやすい位置にエレベーターを設置する。黄色のカフェの下あたりの四角部分がエレベーターの設置場所である。入ってすぐにエレベーターが目につくことで、体の不自由な方やお子様連れの方など、スムーズに2階へ移動できるようにしたい。

- ・エレベーターの右側の三角は、公園側の出入口を移動して新たに設置するものである。公園との行き来がスムーズになることで、一体的な利用を見込めるようになる。
- ・公園側のブルーの部分は、モノづくりなどの体験活動などができる場所である。公園側に配置することで、公園利用者にも興味を持ってもらえるようにする。また、例えばモノづくりをした後、公園でそれを利用することなども想定している。
- ・資料の下の黄色の場所は、色々なイベントや発表に使える多目的スペースである。現在の東玄関は封鎖し、先ほどの公園からの出入口に統一することを想定している。
- ・ピンクの場所はティーンズコーナーで、若者向けの情報や雑誌、本などを設置し、交流の場として、図書館に来るきっかけを創り出したいと考えている。
- ・1階は、全体的に背の低いゆとりある書架とゆっくりと過ごせるような椅子やベンチを配置して、自由にのびのびと過ごせる空間をつくっていききたいと考えている。1階から2階への移動は、中央の緑色、現在の中央の吹き抜けにらせん階段を設けて、2階への流れを作りたい。イメージは4ページのとおりに。
- ・3ページに戻り、2階部分を説明する。2階はこれまでの図書館を引き継ぎ、たくさんの本と向き合える場所となる。ゆっくり、集中して本が読めるように椅子やベンチを配置する。
- ・特に眺めのいい窓側、公園側や歩道側では、自然を感じながら本に親しむことができるようにする。右下のブルーの場所は、グループ学習やテレワーク、複数人でのミーティングができるスペースとし、左下の緑色の場所は、読書や勉強に集中できる静かなスペースに、右上の黄色の場所は、市民の学習や活動の成果を発表できる展示スペースとしている。
- ・ピンク色がメインカウンターである。1階にもカウンターを設けるが、そちらは主に子どものコーナーの対応とし、調べものなどの市民の皆さんからの様々な問い合わせにはこちらで対応する。2階部分の説明は以上です。
- ・なお、対面朗読室やボランティア室については、現在、効果的な設置場所について協議中である。
- ・最後に、図書館と公園のつながりについて、4ページが一番下の図をお願いする。
- ・図書館内の公園側には椅子やベンチを置き、木々や自然を感じられるようにする。公園と隣接する部分については、マルシェイベントなどが気軽に実施しやすくなるよう、電源や水場等の環境整備を行う。また、椅子の貸出等により、公園との一体的な利用を生み出していきたいと考えている。
- ・ゾーニングの素案については、職員だけでなく、皆様や市議会等の意見等を伺い、その意見を検討して、反映につなげていきたい。

○令和7年度イベント企画書（冊子資料）

- ・令和7年度に実施予定の本館、各分館、分室における様々なイベントを記載している。
- ・事業計画で成果指標とする図書館サービスの充実度や満足度の向上に向けて、本館、分館、分室において、様々な企画を考え実施していく。
- ・委員の皆様にはぜひイベントに参加いただき、また、ご家族やご友人へのお声掛けや情報発信についてもお願いしたい。

【質疑・意見】

（委員）

- ・まずお礼をいいたい。開催通知が2か月前、資料が1か月前に届いたので、十分目を通す時間があつた。重点項目を絞り込んだのもいいと思う。

（委員）

- ・図書館資料の分類や検索はリニューアル後どうなるのか。

（事務局）

- ・分類は日本十進分類法を基本にしながら、テーマ展示などしながら魅力的に見せていきたい。

（委員）

- ・書架のイメージがわからないのでお尋ねした。

（事務局）

- ・現在検討中であり、1階は低い書架、2階は高い書架、開架率 50%と考えている。閉架も増える。見せ方を工夫して本に興味を持ってもらえるようにしていく。

（委員）

- ・お洒落でオープンになっている。リニューアル後はたくさんの方が来ると思うが、人員はこのままか。

（事務局）

- ・今後協議していく部分。IC タグの導入も検討中であり、人員についても今後協議していく。

（委員）

- ・春休みになるが、公共の場所が安全とは言えない。学校では気をつけるよう指導があっている。有料の、監視があるラウンドワンなどに行くようになっている。監視の目は必要。図書館でPTAや自治会などを開催し、市民の力を借りて、市民の目を増やしてほしい。

（事務局）

- ・現在30分おきに職員と警備員で巡回している。

（白根会長）

- ・ボランティアを導入し、簡単な案内、司書と市民をつなぐようなボランティアがあってもいいのでは。

（事務局）

- ・ボランティア募集については、活動がわかるようにするなどを検討している。令和6年度はリユース本の譲渡会でボランティアを活用した。リニューアル後も検討したい。

（委員）

- ・ボランティア活用については、資料に記載があつた。まさに図書館の方向性にあつた取り組みである。ボランティアをすると図書館のファンになる。ぜひ続けてほしい。

（事務局）

- ・昨年11月の譲渡会で募集した。令和7年度も募集したい。

(委員)

・佐賀新聞の読者欄に、書店との連携の意見があった。図書館はきっかけであり、欲しい本は書店に繋げていく。そういう方策を考えてほしい。佐賀乃書店の本間さんはたぶん協力してくれるのでは。

(事務局)

・リニューアル後は、書店との連携を考えていきたい。

(委員)

・子どもに声をかけると保護者にハッとされる。名札などでボランティアだとはっきりわかると、子どもとも関わりが持ちやすいのではないかと思う。

(事務局)

・参考にさせていただく。

(白根会長)

・全体を通して質問はあるか。

(委員)

・図書館の大規模改修には期待している。図書館職員の研修はどう考えているか。司書の採用枠がない。一人でも専門職を増やしてほしい。多様化する図書館の核になる人いないと宝の持ち腐れになる。研修をきちんとしながら専門職を確保してほしい。

(事務局)

・研修はオンラインなどを活用しながら、希望者を募集しながら参加している。参加したくてもシフトの問題もあるので、できるだけ調整して参加させている。改修工事の休館中にも研修を計画したい。職員は司書資格のある職員の配置を希望している。すぐ異動せず5～6年は配置するよう要望はしている。現在、5～6名は司書資格を持った職員がいる。資格を活かして業務にあたっている。

(委員)

・市立図書館の接遇は日本一だと思っている。自動貸出機が確か3台あるが、自動貸出機の利用を推奨しているのか。

(事務局)

・利用を推進していきたい。リニューアル後はICタグを入れて推進していきたい。

(委員)

・自分でも貸出手続きができた。

(白根会長)

・お急ぎの方には自動貸出機の利用を案内してもよいのではないか。

(委員)

・顔がわかりにくい。ホスピタリティを上げるには、人が出てくる仕掛けがあるとよいと思う。

(事務局)

・いろいろと考えていきたい。

(白根会長)

- ・司書資格を持つ職員は何年いるのか。

(事務局)

- ・決まりはない。部署を異動し行ったり来たりする。通常3年経過すると異動対象となる。長く置いて欲しいと要望はしている。

(白根会長)

- ・司書は経験が大事。資格のある職員を含め体制が取れるとよい。

(委員)

- ・本を読まなくなった。最近はオーディオブックを使っている。運転したりジョギングしたりしながら聴いている。オーディオブックの貸出があるとよい。他の図書館ではないのではないか。先進的取り組みとして注目を浴びるのと思う。

(事務局)

- ・導入状況などオーディオブックに関する知識がないので調べたい。

(事務局)

- ・朗読のCDはある。

(委員)

- ・オーディオブックを使っている。夏目漱石の『こころ』は長くて13時間もあった。本を借りようと思ったが厚くて、読みやすい本を探してもらったら、中学2年生向けの本を出してくれた。非常によかった。

(白根会長)

- ・他に意見や質問がなければ協議会を終了したい。本日の議事については全て承認としてよいか。
- ・特にご意見がないようなので、これで承認としたい。

(事務局)

- ・次回の図書館協議会は、令和7年8月頃を予定している。日程等詳細が決まり次第、連絡を行う。

令和6年度 佐賀市立図書館事業計画の実施報告

【第3次佐賀市立図書館サービス計画の成果指標】

- ・佐賀市立図書館のサービス（分館等含む）が充実していると思う市民の割合

令和6年度目標値	令和6年度実績値	令和7年度目標値
67.1%	61.9%	68.0%

- ・佐賀市立図書館のサービスに満足している利用者の割合

令和6年度目標値	令和6年度実績値	令和7年度目標値
85.0%	93.9%	85.0%

【令和6年度の重点事業】

◎電子図書館システム試験導入事業（運用・効果検証）	【総務企画係】
◎大規模改修事業（R 5～6：基本構想・基本計画、R 6～7：基本設計・実施設計）	【総務企画係】
○学習成果を発表するための取組	【サービス二係】
○視聴覚資料・マンガ資料の収集方針検討	【サービス二係】
○子どもの利用登録率や貸出点数を増加させるための取組	【サービス二係】
○図書館と接点がない保護者に対して興味を持ってもらう取組	【サービス二係】
○学校図書館との情報交換や支援のあり方検討	【サービス二係】
○今後の外国語資料のあり方検討	【サービス二係】
○高齢者が健康で生きがいを持って生活するために図書館ができることの検討	【サービス一係】
○障がい等により読書が困難な人々に対するサービスのあり方再検討	【サービス一係】
○業務効率化や外部団体等との協力・連携、外部資金の活用について検討	【総務企画係】
○講演会等へ参加し、職員の資質向上や将来のサービスのあり方を検討	【総務企画係】

【令和6年度の事業実施にかかる留意点】

○「電子図書館システム試験導入事業」は、本格導入の判断材料とするために、 令和6年度の稼働状況の把握と、利活用状況や改善要望等に関するアンケート調査を行う。
○「大規模改修（基本構想・基本計画）」は、パブリックコメントによる市民の意見聴取を行う。
○「大規模改修（基本設計・実施設計）」は、基本構想・基本計画に基づく施設内外の配置や機能等のハード面の検討だけでなく、業務やサービス等の運営面についての検討も行う。

基本目標	1. 個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館									
目標概要	市内全域への基本的な図書館サービスの提供によって、個人や地域における読書活動や生涯学習、課題解決に貢献します。 また、市民の知的好奇心を刺激することで、市民の生きがいづくりや図書館利用に繋げていきます。									
施策の方向性	方向性①：市内全域で図書館の資料を利用できるようにします。 方向性②：くらし・仕事・趣味・地域の課題解決に貢献します。 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。 方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。									
成果指標	指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	調査方法
	市民の図書館利用登録率	目標	－	－	38.3%	39.2%	39.9%	41.0%	42.1%	市内在住者の個人登録数÷住基人口
		実績	37.4%	37.2%	37.6%	38.0%	38.3%	38.7%		
	貸出サービスを利用した市民の数	目標	－	－	26,601人	26,951人	25,573人	26,787人	28,000人	図書館業務統計
		実績	26,251人	22,140人	23,146人	22,839人	22,432人	21,951人		
	市民一人あたりの貸出点数	目標	－	－	6.97点	6.98点	6.97点	6.99点	7.00点	総貸出点数÷住基人口
		実績	6.97点	6.41点	6.92点	6.57点	6.22点	6.07点		
その他指標	仕事や学校以外で、何らかの知識や技術を身につけるための取組をしている市民の割合	目標	－	－	－	－	－	－	－	市民意向調査
		実績	27.9%	30.0%	27.6%	26.6%	29.4%	29.3%		

基本目標	2. 子どもの成長に役立つ図書館									
目標概要	子どもが生涯にわたって読書に親しみ、様々な資料や情報を利用して自ら学ぶ力を養うための取組を行います。また、小中学校や幼稚園・保育園・認定こども園や、読み語りボランティア活動を行う団体など、子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。									
施策の方向性	方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくります。 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。 方向性③：子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。									
成果指標	指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	調査方法
	佐賀市立図書館のサービス(分館等含む)が充実していると思う市立小中学校の保護者の割合	目標	-	-	76.4%	77.2%	79.0%	79.5%	80.0%	・教育政策市民満足度調査
		実績	75.6%	72.8%	78.0%	83.1%	77.7%	74.4%		
	佐賀市立図書館の児童コーナー利用者の満足度	目標	-	-	95.6%	95.7%	97.4%	97.7%	98.0%	・図書館利用者アンケート(全館) ※「未回答・わからない・利用しない」を母数から除く。
		実績	95.5%	97.3%	95.3%	94.8%	93.5%	96.6%		
	0歳～18歳の市民の利用登録率	目標	-	-	39.1%	39.6%	40.2%	42.6%	45.0%	・市内在住者の個人登録数÷住基人口
		実績	37.6%	36.0%	35.3%	34.3%	33.7%	33.2%		
	0歳～18歳の市民一人あたりの貸出点数	目標	-	-	7.93点	7.95点	8.38点	8.39点	8.40点	・0～18歳の市内在住者への総貸出点数÷住基人口
		実績	7.92点	7.12点	8.35点	7.83点	7.41点	7.21点		
その他指標	子どもに本を読んであげている家庭の割合	目標	-	-	-	-	90.0%	-	-	・「佐賀市子どもの読書活動推進計画」に記載(健康づくり課指標)
		実績	90.9%	92.6%	93.6%	93.2%	93.0%	93.5%		
	学校の授業時間以外に読書をする小学生の割合	目標	-	-	-	-	90.0%	-	-	・「佐賀市子どもの読書活動推進計画」に記載(学校教育課指標)
		実績	84.0%	77.6%	80.4%	74.3%	77.8%	72.1%		
	学校の授業時間以外に読書をする中学生の割合	目標	-	-	-	-	75.0%	-	-	・「佐賀市子どもの読書活動推進計画」に記載(学校教育課指標)
		実績	68.50%	60.60%	69.5%	67.9%	67.9%	54.8%		

基本目標	3. 多様な人々が集う図書館									
目標概要	市民のサードプレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。また、多様な考え方や生き方に応える資料を提供するとともに、日本語を母国語としない人や、視覚障がい、発達障がい、肢体不自由などの障がいによって読書が困難な人でも気軽に利用できる図書館づくりを行います。									
施策の方向性	方向性①: 市民のサードプレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。 方向性②: 日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。									
成果指標	指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	調査方法
	佐賀市立図書館の居心地への満足度	目標	-	-	94.4%	94.5%	95.8%	95.9%	96.0%	・図書館利用者アンケート(本館分) ※「未回答・わからない・利用しない」を母数から除く。
		実績	94.3%	94.2%	95.7%	91.0%	95.5%	96.2%		

基本目標	4. 市民と共に変革を進める図書館									
目標概要	市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくります。また、限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。									
施策の方向性	方向性①：限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。 方向性②：市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくります。									
成果指標	指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	調査方法
	各年度の事業計画の 目標達成率	目標	－	－	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	各年度の事業計画で 設定した目標値の達 成率
		実績	－	－	44.2%	43.7%	47.0%	46.7%		
	図書館ボランティアの満足度	目標	－	－	74.1%	75.6%	75.7%	77.8%	80.0%	図書館ボランティアへ のアンケート調査
		実績	－	72.7%	87.5%	73.5%	86.6%	81.3%		

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	高齢者が健康で生きがいを持って生活するために図書館ができることの検討																
事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	0千円			担当係・担当者	サービス係	内山									
関連する基本目標/方向性	③多様な人々が集う図書館					方向性②: 日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。											
事業概要 (目的・内容)	高齢者に対して、図書館の普段の利用の有無に関わらず、健康で生きがいを持って生活するために図書館ができることについて検討する。 庁内の高齢者福祉及び保健・介護に関係する各部署、および、保健・医療・介護分野の関係機関、施設等における取り組みに対して、図書館が連携・協力できることを検討する。																
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	○佐賀市の高齢福祉及び保健・介護に関係する部署との連携・協力が必要 ○保健・医療・介護分野の関係機関、施設等との連携・協力が必要																
事業内容	内容		上半期					下半期					進捗	詳細			
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3	
	他の公共図書館等の高齢者向けサービスの 実例等の調査	年間計画	*	*	*	*	*	*							遅れている		
		実績								*	*						
	庁内各部署における 取り組み状況等の調査	年間計画	*	*	*	*	*	*							遅れている	高齢福祉課、ほか	
		実績								*	*						
	関係機関、施設等における 取り組み状況等の調査	年間計画	*	*	*	*	*	*							遅れている	社会福祉協議会、佐賀中部広域連合、 地域包括支援センター、ほか	
		実績								*	*						
	庁内各部署及び関係機関等 との意見交換	年間計画				*	*	*	*	*	*					遅れている	
		実績															
	調査等の内容を基に具体案の 検討	年間計画										*	*	*	ほぼ予定どおり		
		実績											*	*			
		年間計画															
		実績															
		年間計画															
実績																	
成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績		R5年度実績		R6年度実績		R6年度目標値		調査方法							
	高齢者の満足度向上に向けたサービスの検討	-		-		具体案の検討		具体案の検討		事務事業							

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	障がい等により読書が困難な方に対するサービスのあり方再検討																		
事業年度	令和5年度～令和6年度				令和6年度事業費				0千円			担当係・担当者		サービス係		測・吉本			
関連する基本目標/方向性	③多様な人々が集う図書館								方向性②: 日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。										
事業概要 (目的・内容)	読書バリアフリー法の施行を受け、視覚障害だけでなく発達障害、肢体不自由その他の障害など読書が困難な人々に対するサービスを充実させていく必要がある。 これまでのサービスを見直し、視覚障害者等がより円滑に利用することができるようサービス内容の再検討を行う。																		
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・佐賀市や県の専門性を持った機関からのアドバイスや協力を仰ぎ、限られた資源でどのようなサービスができるかを検討する。 ・大規模改修に向けて施設のバリアフリー化やハンディキャップサービスコーナーの見直しも併せて検討していく。																		
事業内容	内容		上半期						下半期						進捗	詳細			
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
	県外を含め他の公共図書館のサービスの事例等調査	年間計画	*	*	*	*	*	*							△	県内外公共図書館			
		実績					*										ほぼ予定どおり		
	庁内関係部署における取組状況等調査	年間計画	*	*	*	*	*	*							△	障がい福祉課 ほか			
		実績							*								遅れている		
	関係機関、施設等との連携・意見交換	年間計画				*	*	*	*	*	*				△	佐賀県、佐賀県立視覚障害情報交流センター”あいさが”ほか			
		実績	*			*											ほぼ予定どおり		
	調査等の内容を基に具体案の検討	年間計画										*	*	*	△	大規模改修の設計内容を反映して検討を続ける。			
		実績											*				遅れている		
		年間計画													△				
		実績																	
		年間計画													△				
		実績																	
		年間計画													△				
実績																			
成果	成果指標もしくは成果品			R4年度実績				R5年度実績				R6年度実績				R6年度目標値		調査方法	
	障がい者の満足度向上に向けたサービスの検討			-				-				具体案の検討				具体案の検討		事務事業	

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名		学習成果を発表するための取組																
事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	71千円				担当係・担当者	総務企画係 サービス1係 サービス2係	豊福 洲 原口、宮地									
関連する基本目標/方向性	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館 方向性④:市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。																	
事業概要 (目的・内容)	図書館の役割として、市民の生涯学習のための資料や情報の提供や各種講座等のイベントの開催だけでなく、それらも含め、市民が学んだ学習の成果を発表する機会を提供することも重要であると考え。 現在、多目的ホールやギャラリー等の館内施設の貸し出しについては、団体に限定して貸し出しを行っているため、個人単位での学習の成果を発表できる機会の提供はできていない。 そこで、より多くの市民に学習の成果を発表できる機会を提供するために、図書館主催による個人の作品を集めた展示会等の開催などを検討する。この他に、現在行っている以下の事業についても引き続き継続していく。 ○電子図書館での「調べる学習コンクール優秀作品」の登録による提供 ○図書館主催による「対面朗読ボランティア初級養成講座」および「読み語り講座」の開催 ○「花ボランティア」による館内の花による飾り付けについて、図書館公式Instagramでの発信 ○図書館の施設を利用し編集等されている詩誌「立夏」、「扉」の受け入れによる図書館資料としての提供																	
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	○図書館の大規模改修を踏まえて多目的ホールやギャラリー等の2階施設やその他のスペースの整備について、またそれに合わせた運用方法について検討していく必要がある。 ○団体による活動について、チラシ・ポスターの設置依頼で来館される団体に図書館施設の利用についての情報提供や普段、図書館施設を利用して活動されている団体に学習の成果の発表することについての提案も必要であると考え。 ○図書館で作品等を公募する際は、「図書館の資料を参考に作った作品」などのテーマを設定し、図書館資料の紹介から利用にまで繋げる展示内容とするなどの工夫をすることも必要であると考え。																	
事業内容	内容		上半期					下半期					進捗	詳細				
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3		
	市民が学習成果を発表するイベント等の検討	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり			
		実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*				
	電子図書館へ「調べる学習作品コンクール優秀作品」の資料登録	年間計画							*	*					優秀作品は決定したが、電子図書館への登録は行わなかった。			
		実績																
	対面朗読ボランティア初級養成講座の開催	年間計画			*			*	*						サービス一係ハンディキャップサービス担当で、対面朗読ボランティア初級養成講座を開催する。			
		実績			*			*	*									
	対面朗読ボランティアによる対面朗読の実施	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	対面朗読ボランティアによる実施			
		実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*				
	読み語り講座の開催	年間計画							*	*					サービス二係児童サービス担当で読み語り講座を開催した。			
		実績		*					*									
	図書音楽フェスの開催	年間計画							*	*					出演者4組			
		実績							*	*								
	花ボランティアによる館内等の花による飾り付け	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり			
		実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*				
成果	成果指標もしくは成果品		R4年度実績					R5年度実績					R6年度実績		R6年度目標値		調査方法	
	対面朗読ボランティアの新規登録者数		11人					16人					18人		18人		対面朗読ボランティア初級養成講座受講者のボランティア登録者数	
	読み語りボランティア養成講座(R4年度)及び読み語り講座(R5年度)受講者数 * 延べ人数		30人					34人					58人		35人		読み語り講座の受講者数 * 延べ人数	
	図書館音楽フェスへの参加者数		-					-					4組		実施		市民の学習成果を発表するイベントへの参加者数(出演者)	

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	視聴覚資料・マンガ資料の収集方針検討																	
事業年度	令和6年度(単年度)			令和6年度事業費			0千円			担当係・担当者			サービス二係		社本			
関連する基本目標/方向性	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館			方向性②:くらし・仕事・趣味・地域の課題解決に貢献します。														
事業概要 (目的・内容)	○視聴覚資料 本館が開館してから30年が経過し、市民のライフスタイルや情報機器・技術も大きく変化を遂げている。視聴覚資料についても、ビデオデッキが既に生産終了していることから、ビデオテープの利用は激減し、保存状態も悪くなっている。CDやDVDはまだ現役ではあるものの、一般向けのサブスクリプション配信サービスの普及により、視聴の方法も媒体を利用する形からインターネットを利用した形が主流になってきている。そこで、今後求められるニーズに即して、配信サービスの導入や書架づくりのあり方などを検討し、収集方針を改める。 ○マンガ資料 開館以来、マンガ資料は読書習慣のない市民に対する図書館利用の入口としての役割を求められてきた。しかし、予算の削減に伴って、新規購入を控えざるをえない状況が長く続いており、コレクションとして魅力のないものになっている。以前は「マンガ＝娯楽」というイメージが強かったが、近年は「マンガ＝日本の文化」として評価されるようになっており、世の中の認識の変化に即した資料価値や作品性に基づく収集と書架づくりを行うため、収集方針を改める必要がある。																	
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	○視聴覚資料 ・資料費自体が少ないため、書架の鮮度維持が難しい。 ・資料の状態悪化と利用の減少について、分析と対策が必要。 ・配信サービスを導入するにあたり、コストやメリット・デメリットを検証する。 ○マンガ資料 ・書架の陳腐化と資料の損耗が進んでいる。 ・貸出し利用に伴う汚損・破損、紛失、未返却が起りやすい。 ・性質上、多巻ものが多く、出版流通のライフサイクルも早い。																	
事業内容	内容		上半期					下半期					進捗	詳細				
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3		
	【視聴覚資料】 動きや状態の悪い資料の整理	年間計画	*	*	*											予定どおり		
		実績	*	*	*													
	情報収集と現状の把握	年間計画				*	*	*								遅れている		
		実績							*									
	収集方針の検討	年間計画							*	*	*	*	*	*		遅れている		
		実績																
	【マンガ資料】 抜けや状態の悪い資料の整理	年間計画	*	*	*											遅れている		
		実績			*													
	書架配分の見直し・資料更新	年間計画				*	*	*								遅れている		
		実績					*											
	収集方針の検討	年間計画							*	*	*	*	*	*		遅れている		
		実績																
		年間計画																
		実績																
成果	成果指標もしくは成果品		R4年度実績					R5年度実績					R6年度実績		R6年度目標値		調査方法	
	収集方針の一部改定		-					-					方針未定		収集方針(案)の作成			

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	子どもの利用登録率や貸出点数を増加させるための取組															
事業年度	令和6年度(単年度)			令和6年度事業費			0千円			担当係・担当者		サービス二係		原口		
関連する基本目標/方向性	②子どもの成長に役立つ図書館						方向性②:子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。									
事業概要 (目的・内容)	(1)子どもの利用登録率増加のための取組 保護者に図書館利用が身近なものかつ有用であることを理解してもらうために、保護者向けに、講座等の情報発信とともに利用登録方法についての案内を行う(中学生以下の子どもの利用登録には保護者の同意が必要であるため)。 ①「佐賀市公式LINE」を利用し、講座開催の案内や「おすすめ本」の案内等と一緒に、利用登録方法の案内も送信する。 案内予定講座:「図書館を使った調べる学習小学生講座」「図書館を使使った調べる学習コンクール」 「手作り絵本教室」「手づくり絵本コンテスト(仮)」 (2)子どもの貸出点数を増加させるための取組 子ども達が本への興味・関心を持てるように、本と出会う機会を増やす。 ①おすすめの本小冊子の作成 小学校低学年・中学年・高学年及び中学生向けに、「おすすめ本」の冊子を作成し、図書館や児童館で配布する。 作成時期:夏休みと冬休みに合わせる(年2回作成) ②おすすめの本・課題図書の展示 本館児童コーナーで、季節の本等おすすめの本や読書感想文の課題図書の展示を行う。 ③ポップバルーンをとばそう!(こどもの読書週間の取組) 絵本や読み物の紹介カード(ポップ)を利用者から募り、本への関心・興味を促し、図書館の利用促進につなげる。 図書館から一方的に本を紹介するのではなく、利用者の声を取り入れることで、情報の双方向性を深めたい。															
	本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など ○おすすめ本の紹介等については、子どもたちが興味を持つ資料の選定をする。 ○資料を複数所蔵することで、「読めなかった」という状況を可能な限りなくしたい。 ○各講座については、子どもたちが参加しやすい日程調整をし、広報を十分にすることで多くの子どもたちに参加をしてもらう。															
事業内容	内容		上半期						下半期						進捗	詳細
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	おすすめの本小冊子の作製 および長期休暇中の展示	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
		実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		予定どおり
	おすすめの本・課題図書の展示	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
		実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		予定どおり
	ポップバルーンをとばそう! (こどもの読書週間)	年間計画	*	*										*		
		実績	*	*										*		予定どおり
	調べる学習小学生講座/ コンクール	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
		実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		予定どおり
	手づくり絵本教室 絵本コンテスト(仮)	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
		実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		手づくり絵本コンテスト(仮) →手づくり絵本作品展
		年間計画														
		実績														
	年間計画															
	実績															
成果	成果指標もしくは成果品		R4年度実績			R5年度実績			R6年度実績			R6年度目標値		調査方法		
	ポップバルーンの枚数(参加者数)		205			320			170			350				
	手づくり絵本教室申込者		31			37			45			40				
	調べる学習小学生講座申込者		20			10			20			20				
	児童書の貸出点数		555,057			520,264			508,192			556,000				
	子ども(0～12歳)の登録者数(市内在住)		5,972			5,773			5,537			6,000				

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	図書館と接点がない保護者に対して興味を持ってもらう取組															
事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	0千円			担当係・担当者	サービス二係	原口								
関連する基本目標/方向性	②子どもの成長に役立つ図書館		方向性①:子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくります。													
事業概要 (目的・内容)	乳幼児を含む子ども達が楽しめる資料やイベント等があることを知ってもらい、図書館に足を運んでもらうために、保護者である子育て世代に図書館の情報を広く届くようにする。 ①「佐賀市公式LINE」を利用した子育て世代への情報配信 ・定例おはなし会の情報発信 ・館内チラシ・ポスター・ホームページと県立図書館経由の「ワイヤーママ」だけでなく、「佐賀市公式LINE」で情報配信をする。 ・新着「赤ちゃん絵本」の案内 4か月に一度程度、新たに受け入れた赤ちゃん絵本等の紹介をするとともに、利用登録等についても案内する。 ②赤ちゃん絵本ガイドブックの配布 図書館各館で配布するとともに、健康づくり課が行っている乳児家庭全戸訪問の際に配布する。															
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・現在のおはなし会の案内は、館内チラシ・ポスター・ホームページと県立図書館経由の「ワイヤーママ」のみである。図書館にある程度関心がある人しか知ることができないので、「佐賀市公式LINE」で子育て世代への情報配信をする。															
事業内容			上半期					下半期					進捗	詳細		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
	定例おはなし会の案内	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	
		実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
	新着「赤ちゃん絵本」の紹介	年間計画			*				*				*	遅れている		
		実績											*			
	赤ちゃん絵本ガイドブックの配布	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	
		実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
	年間計画															
	実績															
成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績		R5年度実績		R6年度実績		R6年度目標値		調査方法						
	おはなし会の参加者	737		903		1,687		1,500								
	23歳～39歳(子育て世代)の登録者数(市内在住)	17,502		17,737		17,111		17,600								

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	学校図書館との情報交換や支援のあり方検討																
事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	0千円	担当係・担当者	サービス二係	原口・陣内											
関連する基本目標/方向性	②子どもの成長に役立つ図書館		方向性③:子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。														
事業概要 (目的・内容)	子どもたちにとって一番身近な図書館である学校図書館への支援は、図書館の重要な役割であると考えられる。これまで、学校図書館とのネットワーク化や団体貸出などを通じて支援を行ってきたが、積極的に情報共有を行い、団体貸出にとどまらない支援のあり方を検討する。																
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	団体担当とともに学校図書館事務職員研修会に参加し、まずは学校図書館の現状を学ぶことが必要。そのうえで、児童担当の講座等について協力を依頼したり、学校が求める支援を検討する。																
事業内容	内容		上半期					下半期					進捗	詳細			
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3	
	学校図書館との意見交換	年間計画				*	*									予定どおり	
		実績				*	*			*							
	検討した内容についてまとめ、方針を決定	年間計画									*	*	*	遅れている			
		実績															
		年間計画															
		実績															
		年間計画															
		実績															
		年間計画															
		実績															
		年間計画															
		実績															
		年間計画															
		実績															
		年間計画															
		実績															
成果	成果指標もしくは成果品		R4年度実績					R5年度実績					R6年度実績		R6年度目標値	調査方法	
	方針決定		-					-					方針未定		方針決定		

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	今後の外国語資料のあり方検討																
事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	0千円	担当係・担当者	サービス二係	西村											
関連する基本目標/方向性	③多様な人々が集う図書館		方向性②: 日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。														
事業概要 (目的・内容)	図書館に求められる多文化サービスについて、現状を把握するため、在留外国人のニーズ調査や自治体・関連機関や他図書館のコミュニティ報告書等を参考に情報を収集し、今後の外国語資料のあり方を検討する。																
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・ニーズに合っていないため、利用が少ない。 ・予算が少なく購入数が限られるため、所蔵資料の情報が古い。 ・職員の多文化サービスに関する情報が不足している。 ・在留外国人がどこでどのように情報を入手しているか把握する必要がある。 ・出身国または出身地域、性別、年齢、滞在年数、使用言語によってもニーズが異なることが予想される。																
事業内容	内容		上半期					下半期					進捗	詳細			
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3	
	情報収集、および現状の把握	年間計画	*	*	*	*	*	*								遅れている	
		実績	*	*													
	外国語資料のあり方の検討	年間計画							*	*	*	*	*	*		遅れている	
		実績															
		年間計画															
		実績															
		年間計画															
		実績															
		年間計画															
		実績															
		年間計画															
		実績															
		年間計画															
		実績															
		年間計画															
		実績															

成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R6年度目標値	調査方法
	外国語資料のあり方をまとめる	-	-	方針未定	報告作成	

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名		電子図書館システム試験導入事業(R6年度:運用・効果検証)															
事業年度		令和4年度～令和7年度				令和6年度事業費			1,109千円		担当係・担当者		総務企画係		若松		
関連する基本目標/方向性		①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館/②子どもの成長に役立つ図書館/③多様な人々が集う図書館				①～②:くらし・こと・趣味・地域の課題解決に貢献します。/②～①:子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。/③～②:日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。											
事業概要 (目的・内容)		・「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料(行政資料・郷土資料・市民の学習成果等)の整理・公開」を目的に、電子図書館システムの試験導入を行う。特に子ども(小学生～高校生)向けの資料を中心に提供を行う。 【スケジュール】 システムの調達及び構築:令和4年度 試験運用期間:令和5年6月～令和7年5月 【事業費】 総額(R4～R7年度):4,365,000円(税込) ◎内訳 構築費用(R4):770,000円、サービス利用料(R5～R7):1,320,000円(月額税込55,000円) 商用電子書籍使用料:2,275,000円(R4～R7) ※R6年度予算の教育部長枠として、上記費用とは別に「935千円」を計上している。 (読み放題パックのコンテンツ追加分(100点)の2年分の契約用)															
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など		・学校や家庭での子どもの自由な読書や学習に活用できるよう、学校を中心に利用促進の取り組みが必要である。 ・R7年度の当初予算要求(R6.9月頃)までに、システムの効果検証と今後の方針の決定を行う必要がある。 ・商用電子書籍は紙の書籍に比べて2～3倍高額かつ利用期限があるものが多い。試験運用期間後も継続することになった場合、継続的に運用するために、どのような方針で予算を確保し資料を収集するか検討していく必要がある。 ・商用電子書籍とは別に、郷土関連資料(子どもの学習に役立つ郷土資料・行政資料・市民や子どもの学習成果)の登録を継続して実施したい。															
事業内容		内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
		サービスの運用	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	
			実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
		利用者データ登録・更新作業 ・学校利用者及び一般利用者	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	一般分はサービス1係と連携して作業を行う。 【学校】随時分:学校教育課から連絡があった場合に随時作業。 3月:新小学校1年生分のデータ登録 4月:卒業生(中学3年生)分のデータ削除 【一般】毎週水曜日及び毎月最終木曜日
			実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
		商用電子書籍の選書・発注	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	サービス2係児童担当が選書を行う。
			実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
		独自資料(郷土関連資料)登録	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	サービス2係レファレンスサービス担当と連携して登録作業を行う。
			実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
		利用統計データの取得	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	
			実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
		学校向けアンケート調査 (児童生徒・教職員)	年間計画	*	*											遅れている	学校の負担軽減のため児童生徒へのアンケートは実施せず、教員及び学校司書へのアンケートを行った(～8/16)。現在集計中。
			実績			*	*										
		その他利用者向けアンケート調査	年間計画	*	*											-	一般向けの利用はユニークユーザが少ないことや、学校や家庭での子どもの利用に焦点を当てて方針を作成するため、今年度のアンケート調査は見送る。
			実績	-	-												
		R7年度予算要求に向けた方針作成	年間計画	*	*	*	*	*	*							遅れている	アンケート調査や学校の教職員から直接伺った意見・要望を基に整理する予定。また、補助金の活用についても調査中。
			実績	*	*	*	*	*	*								
利用促進に関する取組 (学校への活用事例展開等)	年間計画			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	遅れている	7/29 兵庫小学校教職員向け研修		
	実績			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*				
成果		成果指標もしくは成果品			R4年度実績			R5年度実績			R6年度実績			R6年度目標値		調査方法	
		R7年度予算要求に向けた方針			-			-			方針の作成			方針の作成		-	
		商用電子書籍の閲覧回数			-			7,126回			12,841回			8,600回		統計データの取得	
		郷土関連資料の閲覧回数			-			3,873回			4,724回			4,700回		統計データの取得	

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名		大規模改修事業（R6年度:基本構想・基本計画策定、基本設計）															
事業年度		令和5年度～令和8年度				令和6年度事業費			0千円（補正予算計上予定）			担当係・担当者		総務企画係		増本・峰松	
関連する基本目標/方向性		④市民と共に変革を進める図書館					方向性①：限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。										
事業概要 （目的・内容）		図書館本館の建築物や設備の劣化等による不具合を解消するために、全体的な改修を行う。 あわせて、バリアフリー化やデジタル化による利便性の向上や、滞在できる居場所づくりに向けたレイアウトの見直しなど、これからの図書館に求められる施設機能向上のための改修にも取り組み、「SAGA LIBRARY PARK」を体現する。 【事業スケジュール】 ○1年目～2年目（R5～6年度） 基本構想・基本計画の策定 ○3年目～4年目 基本設計・実施設計 ○5年目以降 整備工事															
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など		○実施規模の早急な議論が必要（劣化、老朽化等による補修、機器類の更新は最優先） ○事業費用を補うの財源確保に早急に取り組む必要あり ○工事の方針の早急な決定が必要（休館期間、図書資料の仮移転先、代替サービス） ○リニューアル後の運営体制の検討が必要（自動車図書館、分館のあり方、開館時間等） ※現職員体制での事務の見直しレベルではなく、抜本的な検討を要す ○人件費高騰、物価高騰に伴い、工事実施時には費用が大きく上振れする恐れあり（市村記念体育館、アサヒビール鳥栖工場等） ○資材調達の都合、人材不足、労働基準法改正（働き方改革）の影響等による工期延伸の恐れあり															
事業内容		内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
		基本構想・基本計画策定業務	年間計画	*	*	*										予定どおり	4～5月頃、パブリックコメント実施 パブリックコメント終了次第、市議会に報告
			実績	*	*	*											
		基本設計予算事務	年間計画	*	*	*	*	*	*							予定どおり	建築住宅課と連携しながら事務を実施
			実績	*	*	*	*	*	*								
		プロポーザル公募事務	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*			予定どおり	建築住宅課と連携しながら事務を実施
			実績						*	*	*	*					
		基本設計事務	年間計画									*	*	*	*	予定どおり	建築住宅課と連携しながら事務を実施
			実績									*	*	*	*		
		財源調査・調整事務	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	関係部局・機関と連携しながら事務を実施
			実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
		仮移転先調査・調整事務	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	関係部局・機関と連携しながら事務を実施
			実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
		リニューアル後の運営体制の検討	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	遅れている	有識者との意見交換、情報収集 サウンディング調査を実施
			実績					*		*		*	*	*			
成果		成果指標もしくは成果品			R4年度実績			R5年度実績			R6年度実績			R6年度目標値		調査方法	
		基本構想・基本計画の策定			—			策定委員会を構成し、素案を作成。素案を議会に説明			構想・計画を策定			構想・計画の策定		—	
		基本設計			—			—			委託業者を決定			委託業者の決定		—	
		リニューアル後の運営体制の検討			—			—			サウンディング調査を実施			方針の検討		—	

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	業務継続性の向上や危機管理に関する取組																			
事業年度	令和5年度～令和8年度					令和6年度事業費					0千円		担当係・担当者		総務企画係		若松			
関連する基本目標/方向性	④市民と共に変革を進める図書館					方向性①:限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。														
事業概要 (目的・内容)	サービスの継続性を高め、災害時や大規模改修時の変化に対応できるように、図書館本館の設備のDX・クラウド化を検討する。 【事業スケジュール】 (R5年度) 改善点の整理 (R6年度) 電話設備DXの計画検討、業務システムのクラウド化の計画検討 (R7～8年度) 業務システムのクラウド化実施 (R9年度以降) リニューアルに合わせて 電話設備のDX実施																			
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	○大規模改修事業(リニューアル)の時期・内容に影響を受ける。 ○大規模改修の工事に入る前に実施するため、事前の予算化が必要。 ○先進事例や新サービスの情報収集が必要。																			
事業内容	内容		上半期						下半期						進捗	詳細				
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
	電話設備DX	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	ほぼ予定どおり	・電話自動応答(1/14 試験運用開始) ・主装置のクラウド化(検討) ・電話自動送信(検討) ・内線スマートフォン化(検討)			
		実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*					
	業務システムクラウド化	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	遅れている	・サーバー類のデータセンター化(検討) ・将来の完全クラウド化(検討) ※大規模改修事業の影響を受けるた				
		実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*						
		年間計画																		
		実績																		
		年間計画																		
		実績																		
		年間計画																		
		実績																		
		年間計画																		
		実績																		
		年間計画																		
		実績																		
		年間計画																		
		実績																		
成果	成果指標もしくは成果品		R4年度実績			R5年度実績			R6年度実績			R6年度目標値			調査方法					
	電話設備DX計画策定		-			改善点の整理			一部試験運用開始			計画策定 一部試験運用開始			試験運用開始					
	システムクラウド化計画策定		-			条件等の整理			条件等の整理			計画策定								

17

事業名		業務効率化や外部団体等との協力・連携、外部資金の活用について検討														
事業年度		令和6年度(単年度)			令和6年度事業費			0千円			担当係・担当者		総務企画係		北島・富吉	
関連する基本目標/方向性		④市民と共に変革を進める図書館				方向性①:限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。										
事業概要 (目的・内容)		限られた人員や予算の中で図書館サービスを効率的・効果的に提供するため、司書業務の効率化を図る。 また、外部団体等との協力・連携、外部資金の活用のための取組を行う。														
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など		・外部資金の活用について情報を収集し、活用について検討を行う。 ・外部団体の活用や他部署との協力・連携等について検討を行う。														
事業内容	内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
	雑誌スポンサー制度を含めた外部資金活用の検討	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	雑誌スポンサー:学校法人清和学園		
		実績				*	*	*	*	*	*	*	*		ほぼ予定どおり	
	外部団体等との協働の可能性について検討	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	ほぼ予定どおり		
		実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*			
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
	年間計画															
	実績															
成果	成果指標もしくは成果品		R4年度実績			R5年度実績			R6年度実績			R6年度目標値		調査方法		
	雑誌スポンサー制度の運用		雑誌4誌			なし			雑誌4誌			雑誌7誌		実績		

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	講演会等へ参加し職員の資質向上や将来のサービスのあり方検討															
事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	0千円			担当係・担当者	総務企画係	北島								
関連する基本目標/方向性	④市民と共に変革を進める図書館		方向性：①限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。													
事業概要 (目的・内容)	各種研修会の実施により図書館職員として市民対応能力を強化する。 また、より質の高い図書館サービスを提供できるように、先進図書館の事例研究や有識者による講演会・外部研修等を積極的に活用し、研究・研修成果の共有を図ることで、図書館司書として専門知識や技術の向上を目指すとともに、将来の図書館サービスのあり方を検討する。															
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・講演会や研修への参加は業務の都合により参加できる者が制限されるため、館内研修等の機会を使って職員間で知識や技術の共有を図る。															
事業内容	内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
	職員の講演会や外部研修への参加	年間計画	*	*	*		*			*	*				予定どおり	児童研究会やレファレンス研究会と合同開催することで参加人数が増加した。
		実績	*	*	*		*			*	*		*			
	館内全体研修の実施	年間計画	*	*	*		*			*	*	*	*		ほぼ予定どおり	R6.8予定分は台風10号接近のため延期⇒11月実施
		実績	*	*	*				*	*	*	*	*			
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
成果	成果指標もしくは成果品		R4年度実績			R5年度実績			R6年度実績			R6年度目標値		調査方法		
	佐賀県立図書館及び佐賀県公共図書館協議会主催の研修への参加人数		のべ14名			のべ17名			のべ33人			のべ20名以上				
	全国図書館大会及び全国公共図書館研究集会への参加人数		2名			0名			0名			各1名				
	館内全体研修の実施回数		8回			8回			7回			10回				

令和6年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館
方向性	①市内全域で図書館の資料が利用できるようにします
サービス計画に記載した具体例	○分館・分室の運営と自動車図書館の運行 ○資料の貸出/返却/予約サービスの提供 ○団体貸出サービスの提供 ○WebOPAC/館内OPACの提供
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・新型コロナウイルス感染症の蔓延期(令和2～4年度)に大きく落ち込んだ貸出点数は、令和5年度以降も低い状況にある。 ・ただし、来館者数は回復傾向にあるため、貸し出しに繋げる仕掛けづくりを講じていきたい。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R6目標値	R6実績	担当係(館) 担当者
事業内容	大和館の運営 及び貸出サービスの提供	主に大和町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 大和町の利用登録率 (38.4%/R5年度末) ② 大和町の人口当たり貸出点数 (5.7点/R5年度) ③ 大和館の貸出点数 (152,471点/R5年度) ④ 大和館の利用満足度 (87.3%/R6年5月調査)	①40.9% ②6.5点 ③152,711点 ④86.7%	①38.8% ②5.6点 ③151,659点 ④96.8%	大和館
			-				宮崎
	諸富館の運営 及び貸出サービスの提供	主に諸富町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 諸富町の利用登録率 (32.6%/R5年度末) ② 諸富町の人口当たり貸出点数 (3.9点/R5年度) ③ 諸富館の貸出点数 (51,591点/R5年度) ④ 諸富館の利用満足度 (81.6%/R6年5月調査)	①34.4% ②4.8点 ③58,693点 ④89.5%	①32.6% ②3.6点 ③50,753点 ④94.2%	諸富館
			-				大塚
	東与賀館の運営 及び貸出サービスの提供	主に東与賀町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 東与賀町の利用登録率 (41.8%/R5年度末) ② 東与賀町の人口当たり貸出点数 (4.2点/R5年度) ③ 東与賀館の貸出点数 (45,258点/R5年度) ④ 東与賀館の利用満足度 (91.7%/R6年5月調査)	①44.2% ②4.9点 ③49,137点 ④85.0%	①42.1% ②4.1点 ③44,231点 ④97.7%	東与賀館
			-				江頭
	富士館の運営 及び貸出サービスの提供	主に富士町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 富士町の利用登録率 (36.9%/R5年度末) ② 富士町の人口当たり貸出点数 (4.7点/R5年度) ③ 富士館の貸出点数 (16,579点/R5年度) ④ 富士館の利用満足度 (91.4%/R6年5月調査)	①39.1% ②5.4点 ③21,230点 ④93.8%	①37.9% ②4.7点 ③15,077点 ④100%	富士館
			-				詫間
	三瀬館の運営 及び貸出サービスの提供	主に三瀬村の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 三瀬村の利用登録率 (34.8%/R5年度末) ② 三瀬村の人口当たり貸出点数 (4.6点/R5年度) ③ 三瀬館の貸出点数 (5,431点/R5年度) ④ 三瀬館の利用満足度 (92.0%/R6年5月調査)	①36.5% ②6.0点 ③6,982点 ④85.0%	①35.0% ②3.7点 ③5,520点 ④100%	三瀬館
			-				詫間
	川副館の運営 及び貸出サービスの提供	主に川副町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 川副町の利用登録率 (27.1%/R5年度末) ② 川副町の人口当たり貸出点数 (3.1点/R5年度) ③ 川副館の貸出点数 (17,510点/R5年度) ④ 川副館の利用満足度 (89.7%/R6年5月調査)	①28.7% ②3.6点 ③21,985点 ④90.3%	①27.7% ②3.1点 ③18,063点 ④96.3%	川副館
			-				大塚
	久保田館の運営 及び貸出サービスの提供	主に久保田町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 久保田町の利用登録率 (31.9%/R5年度末) ② 久保田町の人口当たり貸出点数 (4.1点/R5年度) ③ 久保田館の貸出点数 (21,325点/R5年度) ④ 久保田館の利用満足度 (87.5%/R6年5月調査)	①33.5% ②4.6点 ③23,104点 ④85.0%	①32.1% ②4.0点 ③20,375点 ④92.0%	久保田館
			-				江頭

事業内容	開成分室での 貸出サービスの提供	主に開成校区の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	・開成分室の貸出点数（23,256点/R5年度）	24,475点	20,508点	サービス係
			-				測
	金立分室での 貸出サービスの提供	主に金立校区の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	・金立分室の貸出点数（23,565点/R5年度）	27,803点	29,929点	サービス係
			-				測
	鍋島分室での 貸出サービスの提供	主に鍋島校区の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	・鍋島分室の貸出点数（42,177点/R5年度）	48,428点	42,351点	サービス係
			-				測
	高木瀬分室での 貸出サービスの提供	主に高木瀬校区の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	・高木瀬分室の貸出点数（37,760点/R5年度）	45,625点	34,037点	サービス係
			-				測
	本庄分室での 貸出サービスの提供	主に本庄校区の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	・本庄分室の貸出点数（40,368点/R5年度）	44,588点	39,941点	サービス係
			-				測
	巨勢分室での 貸出サービスの提供	主に巨勢校区の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	・巨勢分室の貸出点数（27,987点/R5年度）	32,159点	24,935点	サービス係
			-				測
	自動車図書館による 貸出サービスの提供	自動車図書館の運行により、 本館・分館・分室でカバーできない 地域でも資料を利用できるようにする。	通年サービス	① サービスポイント数（14箇所/R5年度） ② サービスポイント巡回回数（204回/R5年度） ※同日に複数箇所を巡回する場合、それぞれ1回としてカウント ③ 自動車図書館貸出点数（3,365点/R5年度）	①14箇所 ②216回 ③5,000点	①14箇所 ②186回 ③3,943点	総務企画係
			-				豊福
	各館間の資料の配送	資料の効率的な共有と、より多くの資料を 利用者に提供するために、本館・分館・ 分室間での資料の搬送を行う。	その他事業	※指標の設定なし	-	-	サービス係
			-				内山
	本館での貸出サービスの提供	旧佐賀市内を中心に、住民及び市内に 通勤・通学する方への貸出サービスの 提供を行う。	通年サービス	① 旧佐賀市内の利用登録率（39.9%/R5年度末） ② 旧佐賀市内の人口当たり貸出点数（6.4点/R5年度） ③ 本館の貸出点数（892,935点/R5年度） ④ 本館の利用満足度（90.1%/R6年5月調査）	①42.4% ②7.0点 ③991,719点 ④90.1%	①40.2% ②6.1点 ③857,918点 ④95.2%	サービス係
			-				真子
	資料の予約（順番待ち・ 取り寄せ）サービスの提供	利用館の書架にない本を利用できるよう、 貸出中の資料の順番待ちと、 他館の資料を取り寄せるサービスを行う。	通年サービス	① 年間予約受付件数（184,543件/R5年度） ② Web及び館内OPACからの予約割合（81.2%/R5年度）	①183,000件 ②80%	①214,836件 ②86.3%	サービス係
			-				真子
	団体貸出（一般団体向け）サービス	読書活動を行うグループや、公民館・ 保育園、市立図書館から遠い場所で 活動する団体等を対象に貸出を行う。	通年サービス	① 年間利用一般団体数（85団体/R5年度） ② 一般団体への年間貸出点数（4,585点/R5年度）	①70団体 ②5,000点	①88団体 ②4,141点	総務企画係・各分館
			-				豊福
	OPACの提供	いつでもどこでも市立図書館の資料を 探すことができるように、オンライン 蔵書目録（OPAC）を提供する。	通年サービス	① WebOPACの障害発生件数（0件/R6.4～R6.12末時点） ② 館内OPACの障害発生件数（0件/R6.4～R6.12末時点） ※端末単独の障害除く	①0件 ②0件	①0件 ②0件	サービス係・総務企画係
			-				真子・若松

令和6年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館
方向性	②くらし・仕事・趣味・地域の課題解決に貢献します。
サービス計画に記載した具体例	○レファレンス（調べもの相談）サービス ○図書館資料の整備 ○図書館資料の複写サービス ○他の図書館等と連携した課題解決支援 ○リクエスト/相互貸借サービス ○商用データベースやデジタル化資料などの提供 ○インターネット接続サービス
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・利用が減少している視聴覚資料やマンガ資料の収集方針について再検討する必要がある。 ・ビジネス支援や郷土資料分野について、佐賀県立図書館や専門機関との連携を念頭に置いて、今後のサービスのあり方を整理する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R6目標値	R6実績	担当係(館) 担当者
事業内容	本館レファレンスカウンターの運営	本館レファレンスカウンターの運営を行う	通年サービス	① 本館調べもの相談件数（19,024件/R5年度） ※本館及び団体・自動車	①19,287件 ②86.8%	①18,536件 ②93.4%	サービス二係
			-	② 調べものコーナーの利用者満足度 (89.7%/R6.5月調査)			宮地
	調べもの相談(大和館)	大和館で調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 大和館調べもの相談件数（3,267件/R5年度）	①3,393件 ②92.5%	①3,169件 ②100%	大和館
			-	② 大和館の調べもの相談への利用者満足度 (96.4%/R6.5月調査)			宮崎
	調べもの相談(諸富館)	諸富館で調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 諸富館調べもの相談件数（539件/R5年度）	①900件 ②100%	①655件 ②93.3%	諸富館
			-	② 諸富館の調べもの相談への利用者満足度 (94.6%/R6.5月調査)			大塚
	調べもの相談(東与賀館)	東与賀館で調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 東与賀館調べもの相談件数（1,248件/R5年度）	①740件 ②94.7%	①1,046件 ②100%	東与賀館
			-	② 東与賀館の調べもの相談への利用者満足度 (96.3%/R6.5月調査)			江頭
	調べもの相談(富士館)	富士館で調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 富士館調べもの相談件数（658件/R5年度）	①520件 ②100%	①536件 ②100%	富士館
			-	② 富士館の調べもの相談への利用者満足度 (98.1%/R6.5月調査)			詫間
	調べもの相談(三瀬館)	三瀬館で調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 三瀬館調べもの相談件数（272件/R5年度）	①260件 ②100%	①385件 ②100%	三瀬館
			-	② 三瀬館の調べもの相談への利用者満足度 (100%/R6.5月調査)			詫間

事業内容	調べもの相談(川副館)	川副館で調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 川副館調べもの相談件数 (366件/R5年度) ② 川副館の調べもの相談への利用者満足度 (100%/R6.5月調査)	①620件 ②96%	①488件 ②100%	川副館
			-				大塚
	調べもの相談(久保田館)	久保田館で調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 久保田館調べもの相談件数 (309件/R5年度) ② 久保田館の調べもの相談への利用者満足度 (72.7%/R6.5月調査)	①370件 ②100%	①273件 ②100%	久保田館
			-				江頭
	調べもの相談(6分室)	各分室で調べもの相談の対応を行う	通年サービス	・分室調べもの相談件数 (6,412件/R5年度)	6,100件	3,769件	サービス係(分室)
			-				湊
	パスファインダーの作成	特定のテーマに関する文献、情報の探し方や調べ方の案内をまとめた「パスファインダー」を作成し、館内やホームページで配布する。	通年サービス	・パスファインダー提供数 (8点/R5年度)	8点	8点	サービス二係
			-				宮地
	リクエストサービス	市立図書館で所蔵していない資料の購入の要望ができるサービスを行う。	通年サービス	・「本、雑誌、新聞の充実」への利用者満足度 (87.3%/R6.5月調査)	88.50%	91.40%	サービス二係
			-				社本
	相互貸借サービス	市立図書館で所蔵していない資料を、他の図書館から取り寄せるサービスを行う。	通年サービス	・相互貸借(借入)点数 (1665点/R5年度)	1,857点	1,681点	サービス二係・分館
			-				宮地
	図書館資料整備事業	市民のニーズに応じた資料提供ができるよう、図書館資料の整備を行う。	通年サービス	①「本、雑誌、新聞の充実」への利用者満足度 (87.3%/R6.5月調査) ②「CD、DVDなど視聴覚資料の充実」への利用者満足度 (70.4%/R6.5月調査)	①88.5% ②70.6%	①91.4% ②71.6%	サービス二係・各分館
			-				社本
	新聞の収集・提供	全国紙や地方紙、業界紙などを提供する。	通年サービス	・提供誌数(のべ)61紙 (本館36紙・分館25紙/R6年度)	66誌	61紙	サービス二係・各分館
			-				折原
	雑誌の収集・提供	趣味や仕事に役立つ雑誌資料を提供する。	通年サービス	① 提供誌数(のべ) 560誌 (本館288誌・分室60誌・分館212誌/R6年度当初) ② 貸出点数 (66,687点/R5年度)	①580誌 ②70,000点	①575誌 ②60,864点	サービス二係・各分館・各分室
			-				坂本(星)
	全国の観光情報の収集・提供	全国の観光パンフレットを収集し、本館内で閲覧できるようにする。	通年サービス	・全国を5つの地区に分け順に観光パンフレットの収集・入替を行う。R7は中部地方の県および市町村に依頼	近畿・中国・四国地方の観光パンフレットの収集・入替	近畿・中国・四国地方の観光パンフレットの収集・入替	サービス二係
			-				西村
	地域資料の収集・提供	佐賀の歴史や地理、地場産業や観光等、佐賀に関する地域資料を提供する。	通年サービス	※指標の設定なし (館内閲覧のため利用数の確認ができない。)	-	-	サービス二係・各分館
			-				梶本
	行政情報の収集・提供	佐賀市や佐賀県等の行政情報(統計情報・各種計画・議会資料など)を提供する。	通年サービス	※指標の設定なし (館内閲覧のため利用数の確認ができない。収集点数も自治体の部署の作成状況に依存する。)	-	-	サービス二係・各分館
			-				木村
	佐賀新聞記事デジタル化データの閲覧サービス	明治17年の創刊号から平成30年3月までの佐賀新聞記事を提供する。	通年サービス	・利用回数 (89回/R5年度)	132回(11回/月)	86回	サービス二係
			-				宮地

事業内容	商用データベースの提供	本館調べものコーナーの電子メディア閲覧用パソコンで、新聞記事や農業・法律情報などの商用データベースを館内で閲覧できるよう提供する。	通年サービス	① 提供データベース数（7件/R5年度） ② 利用回数（57回/R5年度）	①5件 ②60回（5回/月）	①5件 ②33回	サービス二係
			-				宮地
	所蔵検索サービス	市立図書館や他の図書館にある資料の所蔵検索サービスを行う。	通年サービス	※指標の設定なし （レファレンスサービスに含む）	-	-	サービス二係・各分館・各分室
			-				宮地
	国立国会図書館のデジタル化資料の閲覧サービス	国立国会図書館が所蔵する貴重書や雑誌等のデジタル化された資料を館内で閲覧できるサービスを提供する。	通年サービス	・利用回数（3回/R5年度）	12回（1回/月）	0回 （閲覧不可状況のため）	サービス二係
			-				宮地
	「歴史的音源」の提供	歴史的音盤アーカイブ推進協議会がデジタル化した、1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源を、館内で提供する。	通年サービス	・利用回数（0回/R5年度）	12回（1回/月）	0回 （閲覧不可状況のため）	サービス二係
			-				宮地
	複写サービス	市立図書館所蔵の資料について、著作権法第31条（図書館等における複製）の範囲内で複写するサービスを提供する。	通年サービス	・複写件数（2,280件/R5年度）	2,590件	2,179件	サービス二係・大規模分館
			-				宮地
	モバイルインターネットコーナー	調査研究等のために持ち込んだパソコンを使ってインターネットに接続できるコーナーを設置する。（有線LAN接続）	通年サービス	・利用回数（146回/R5年度） ※「LANケーブル」の貸出点数で算出。	100回	146回	総務企画係・サービス一係
			-				若松
	公衆無線LANサービス	インターネット上の情報資源を調査研究に活用するため、公衆無線LANサービスを提供する。	通年サービス	① 利用者数（6,698人/R5年度） ※各月ごとのユニーク数 ② のべ利用時間（32,320時間/R5年度）	①6,000人 （500人×12月） ②25,200時間 （2,100時間×12月）	①6,642人 ②28,285時間	総務企画係・サービス一係
			-				若松
	レフェラルサービス	レファレンス（調べもの相談）サービスにおいて、市立図書館の資料で回答を提供できない場合には、他機関に照会し、資料の入手や専門機関の紹介を行う。	通年サービス	※指標の設定なし （レファレンスサービスに含む）	-	-	サービス二係
			-				宮地
	電子図書館システム運用管理事業	「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料（行政資料・郷土資料・市民の学習成果等）の整理・公開」を目的に、電子図書館システムの運用管理を行う。特に子ども（小学生～高校生）をメインターゲットとする。	通年サービス	・郷土関連資料の閲覧回数（3,873回/R5年度）	3,000回（250回/月）	4,724回	総務企画係/サービス二係
			-				若松・宮地

令和6年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館
方向性	③市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。
サービス計画に記載した具体例	○様々なメディアによる情報発信 ○来館のきっかけとなるイベントの開催
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・図書館の新規利用者を増やすため、未利用者をターゲットにした企画や効果的な広報のあり方を検討する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R6目標値	R6実績	担当係(館) 担当者
事業内容	ホームページによる情報発信	市立図書館のサービスについて、ホームページで情報発信する。	通年サービス	・ホームページアクセス件数（156,529件/R5年度）	160,000件	327,407件	総務企画係
			-				豊福
	市報による情報発信	全戸配布される市報で、月に1回、市立図書館の開館時間やイベント等の情報発信を行う。	通年サービス	・掲載件数（12回/R5年度）	12回	12回	総務企画係
			-				豊福
	図書館報による情報発信	イベントやお知らせ、市立図書館の紹介、おすすめの本の紹介する館報を発行して情報発信を行う。	通年サービス	・館報配布部数（20,000部/R5年度） ※配布先は、本館・分館・分室のほか、県内の公共図書館・市内の学校・歯科医師会・本館近隣の事業所4,000戸	20,000部	20,000部	総務企画係
			-				豊福
	マスメディアを利用した情報発信	市立図書館の取り組みや活用方法を知ってもらうため、コミュニティFMへの定期出演や、マスメディアの取材による情報発信を行う。	その他事業	① マスメディアへの出演 えびすFMラジオ（10回/R5年度） ② 市政記者室投込み（6回/R5年度）	①12回 ②10回	①12回 ②6回	総務企画係
			-				豊福
	SNSを利用した情報発信	10代後半～20代の若者をターゲットに、SNSの特性を利用して、図書館の魅力や活用方法を伝える。また、九州内の県庁所在地図書館におけるSNSの利用状況、発信内容確認、目的に最も適したSNSの検討などに取り組む。	その他事業	・SNSフォロワー数（499人/R7.1.28現在）	400人	515人	総務企画係
			-				豊福
	未利用者をターゲットにした企画や広報のあり方検討	未利用者をターゲットにした企画や広報のあり方の検討を行う。	その他事業	※指標の設定なし	-	-	総務企画係
			-				豊福

事業内容	分室利用促進のためのイベントの実施	分室の利用者や普段利用しない市民に 来館してもらい、利用のきっかけとなる イベントを開催する。	イベント	・イベント参加人数（3,321人/R5年度）	3,000人	3,482人	サービス係
			1-3-1				測
	【本館】 除籍資料の市民への配布	本館の除籍した図書・雑誌を、 利用者に無償で譲渡する。	イベント	① 参加人数769人（R6.5実績:410人、R6.11実績:359人） ② 除籍本の譲渡冊数 8,641点 （R6.5実績:4,276点、R6.11実績:4,365点）	①600名 ②6,000冊	①769名 ②8,641冊 （R7.2-3 リサイクル本 コーナー 5,888冊）	サービス係
			1-3-2				内山
	本館外周部でのイベントに 併せた除籍本の配布	本館外周部で実施されるイベントに併せ、 図書館を普段利用しない若い世代を ターゲットにした除籍本の配布や 図書館の取組の紹介を行う。	イベント	・除籍本の配布数（781点/R6年度）	800点(400点×2回)	783点	総務企画係・サービス係
			1-3-3				若松・内山
	図書館秋のコンサート	気軽に図書館へ来館するきっかけとする ことを目的に、クラシックやアニメ音楽等 による演奏会を開催する。	イベント	・イベント参加人数（41名/R6年度）	50名	41名	総務企画係
			1-3-4				豊福
	落語会	気軽に図書館へ来館するきっかけとする ことを目的に、落語会を開催する。	イベント	・イベント参加人数（35名/R6年度）	50名	35名	総務企画係
			1-3-5				豊福
	ブーカスマつりの開催	自動車図書館の利用が減少する夏休み や冬季に、貸出点数に応じたオリジナル グッズを配り、PRと利用促進を図る。	イベント	① 利用者数（165人/R6.7～8、R6.12月） ② 貸出点数（765点/R6.7～8、R6.12月）	①利用者数/200人 ②貸出点数/1,000点	①165人 ②765点	総務企画係
			1-3-6				豊福
	図書館音楽フェス	図書館を普段利用しない若い世代が 気軽に図書館へ来館するきっかけとする ことを目的に、楽器を演奏できる場を 提供する。また、県立盲学校の生徒に よる演奏会も同時開催する。	イベント	・出演者数（一般3組、盲学校1組/R6年度） ・参加者数 44人	7組	4組	総務企画係
			1-3-7				豊福
	【大和館】 大和館まつり （秋の読書週間イベント）	①雑誌付録プレゼント:定期購読している 雑誌の付録を抽選で利用者に提供する。 ②ブックリサイクル:大和館で除籍した 図書・雑誌を利用者に無償で譲渡する。	イベント	・参加人数（R5年度） ① 応募数 1,035枚 ② 参加人数 924人	①応募数 900枚 ②参加人数 1,050人	①1,086枚 ②648人	大和館
			1-3-8				野中、藤木、姉川、 大坪、山口、堤、斎藤
	【諸富館】 新春くじびき （雑誌ふろくプレゼント）	本（雑誌を含む。代理・延長貸出/CD/DVD/ マンガは除く。）を5冊以上借りたらくじを 1回ひく。当たりが出たら雑誌付録などの プレゼントを渡す。後日再チャレンジ可。	イベント	・参加人数（113人/R5年度）	120人	126人	諸富館
			1-3-10				駄原
	【諸富館】 ブックリサイクル	諸富館の除籍した図書・雑誌を、 利用者に無償で譲渡する。	イベント	・配布数 1,125冊 （1回目:341冊/R5.6実績、2回目:784冊/R5.12実績）	1,000点	2,729人	諸富館
			1-3-11				藤田
	新規【諸富館】 諸富館新築開館イベント	諸富館の新築開館をを記念して、ノベルティ グッズ等を配布し、新しい図書館をPRする。	イベント	新築開館した諸富館の利用者を対象に先着100名程度に ブックバック等のノベルティグッズを配布する。	先着100人程度	7年度予定	諸富館
			新規				全職員
	【東与賀館】 ブックリサイクル	東与賀館の除籍した図書・雑誌を、 利用者に無償で譲渡する。	イベント	①-1 除籍(図書)資料の配布数(648点/R5.10～11実績) ②-1 図書リサイクル参加人数（179人/R5.10～11実績） ①-2 除籍(雑誌)資料の配布数(649点/R5.1～2実績) ②-2 雑誌リサイクル参加人数（141人/R5.1～2実績）	①1,500点 ②350人	①2,461点 ②508人	東与賀館
			1-3-12				古賀・山崎・鍋島・蒲原

事業内容	【富士館】 夏休み子どもワークショップ	夏休み子どもを対象に、館内の資料を参考とした手作り体験と、ブックトークを行う。	イベント	・参加人数（7人/R5年度）	10人	9人	富士館
			1-3-13				詫間、岡本、野中、尾崎
	【富士館】 夏の抽選会	資料を借りた利用者に応募券を配布し、雑誌付録等のプレゼントを配布する。	イベント	・抽選会イベント 応募総数（延べ221人/R5年度）	320人	231人	富士館
			1-3-14				詫間、岡本、野中、尾崎
	【富士館】 ほんの森の秋まつり2025 （秋の読書週間）	秋の読書週間にあわせて、資料を借りた利用者にプレゼントや除籍本を配布する。	イベント	①ブックリサイクル 925点（R5年度） ②参加人数 90人（R5年度）	①1,100点 ②140人	①1,033点 ②158人	富士館
			1-3-15				詫間、岡本、野中、尾崎
	【富士館】 冬の抽選会	資料を借りた利用者に応募券を配布し、雑誌付録・カレンダー等のプレゼントを配布する。	イベント	・抽選会イベント 応募総数（延べ201人/R5年度）	230人	194人	富士館
			1-3-16				詫間、岡本、野中、尾崎
	【三瀬館】 秋の読書週間イベント2025 （秋の読書週間）	秋の読書週間に次のイベントを行う。 ①利用者のおすすめ本紹介 ②雑誌付録プレゼント ③リサイクルブックコーナー	イベント	・参加人数 ①13人 ②43人 ③70人（R5年度）	①30人②60人③80人	①36人 ②45人 ③84人	三瀬館
			1-3-17				北古賀、石橋、中島
	【川副館】 夏休みスタンプラリー	本を借りたらスタンプを押し、集めたスタンプの数に応じてプレゼントを渡すことで、利用者が楽しく来館できる機会を作る。	イベント	・スタンプラリーの台紙配布数（96点/R5年度）	120枚	83枚	川副館
			1-3-19				古賀・西・横溝
	【川副館】 読書くじ （秋の読書週間イベント）	秋の読書週間にあわせて、資料を借りた利用者にくじを引かせる。	イベント	・参加人数（165人/R5年度）	160人	167人	川副館
			1-3-20				古賀・西・横溝
	【川副館】 ブックリサイクル	川副館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。	イベント	・譲渡数（663冊/R5年度）	600冊	529冊	川副館
			1-3-21				古賀・西・横溝
	【久保田館】 新春イベント	新年の始まりに来館した利用者へ、くぼたくじ（おみくじ）を引いてもらい景品をプレゼントする。	イベント	・参加人数（57人/R5年度）	60人	99人	久保田館
			1-3-22				内田・小松・戸谷
	【久保田館】 秋の読書週間イベント	秋の読書週間に、貸出数によって台紙にシールを貼り、その数に応じて景品をプレゼントする。	イベント	・参加人数（105人/R5年度）	110人	112人	久保田館
			1-3-23				内田・小松・戸谷
	【久保田館】 ブックリサイクル	久保田館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。	イベント	①配布数（25点/R5年度） ②参加人数（8人/R5年度）	①30点 ②15人	①44点 ②20人	久保田館
			1-3-24				内田・小松・戸谷

令和6年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館
方向性	④市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。
サービス計画に記載した具体例	○資料の展示・ポスターやチラシの掲示 ○市民向け講座等の開催 ○レファレンス事例の公開(「レファレンス協同データベース」への事例登録)
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・市民が生涯学習などの学習成果を活用する機会を提供するための取組を検討する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R6目標値	R6実績	担当係(館) 担当者
事業内容	資料のテーマ展示	時事に併せたテーマを設定し、図書館資料の展示を行う。	通年サービス	・展示回数 55回 (一係:12回/R6年度) (二係:43回/R5年度)	56回	一係: 12回 二係:135回	サービス一係・サービス二係
			-				内山・宮地
	郷土資料展示	郷土の人物や事柄についての資料の展示を行う。	通年サービス	・展示回数 (4回/R5年度)	4回	5回	サービス二係
			-				宮地
	「レファレンス協同データベース」への事例登録	市立図書館のレファレンス事例を、国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」に登録する。	通年サービス	・事例登録総数 (688件/R5年度末)	750件	688件	サービス二係
			-				宮地
	「季節の棚」の展示	その季節に応じた図書館資料やパンフレットなどの展示を行う。	通年サービス	・展示回数 (25回/R5年度)	24回	24回	総務企画係
			-				豊福
	他団体イベント等のポスター掲示やチラシの配布	他団体イベント等のポスター掲示やチラシの配布	通年サービス	・ポスター・チラシ受付件数 (1,362件/R5年度) ※受付簿記入分	1,400件	1,350件	総務企画係
			-				豊福
	学習成果を発表する機会の提供の検討	生涯学習などの学習成果を発表する機会を提供する取組の検討を行う。	その他事業	※指標の設定なし	-	-	総務企画係・サービス二係
			-				豊福、宮地

事業内容	佐賀大学地域連携型 公開講座の開催	郷土史に興味を持ってもらうため、また 興味を持つ人の知的欲求を満たすため、 佐賀大学から講師を招いて地域学講座を 開催する。	イベント	① 講座開催回数（3回/R5年度） ② 参加者の満足度（92%/R5年度）	①3回 ②85%	①3回 ②92%	サービス二係
			1-4-1				梶本
	図書館職員おすすめの本の展示	来館者が多様な資料に興味を持つ きっかけづくりのため、図書館職員が すすめる本の展示を行う。	イベント	・展示資料数（47点/R6年度） ※おすすめ本が貸出に出た場合は、同一分野の本や 同一作家の別の作品などの関連資料を展示する。	50点	47点	総務企画係
			1-4-2				豊福
	【大和館】 七夕笹飾り展示	館内に組み立て式の笹を2か所設置。 利用者が七夕飾りや願いごとを短冊に 書き、飾る。	イベント	・参加人数（173人/R5年度）	180人	302人	大和館
			1-4-3				大坪、山口
	【大和館】 大人向け映画上映会	気軽に図書館へ来館するきっかけとす ることを目的に、大人向けに大和館所蔵の DVD(上映権付)を上映する。	イベント	・R6年度新規事業	50人	59人	大和館
			1-4-4				野中、藤木、山口
	【諸富館】 秋の読書週間イベント (どくしよの木)	葉っぱ型の用紙に、自分がすすめる本の タイトルと感想を書いてもらい、木を模した 台紙に貼り付けて紅葉させることで、普段 手に取らない本を読むきっかけとする。 プレゼントあり。	イベント	・参加人数（100人/R5年度）	100人	152人	諸富館
			1-4-5				藤田・駄原
	【東与賀館】 シチメンソウ及び ラムサール条約関係 資料展示	東よか干潟に関連した資料(シチメンソウ やラムサール条約関係)を展示する。 (10月上旬～11月下旬)	イベント	・展示回数（1回/R5年度）	1回	1回	東与賀館
			1-4-6				古賀・山崎・鍋島・蒲原
	【東与賀館】 新春イベント	新春イベントとして「福引き」を実施する。	イベント	・参加人数（98人/R5年度）	120人	108人	東与賀館
			1-4-7				古賀・山崎・鍋島・蒲原
	【東与賀館】 秋の読書週間イベント	POP台紙におすすめの本のタイトルやポイ ントを記載してもらい、イベント期間中に『き になる本』として紹介する。POPを書いてくれ た人にはプレゼントあり。	イベント	・参加人数（41人/R5年度）	50人	37人	東与賀館
			1-4-8				古賀・山崎・鍋島・蒲原
	【三瀬館】 七夕笹飾り展示	館入口に本物の笹を設置。利用者が 七夕飾りや願いごとを短冊にかき飾る。 また、関連本を展示し、日本古来の 伝統に興味関心を抱くきっかけをつくる。	イベント	・参加人数（30人/R5年度）	55人	62人	三瀬館
			1-4-9				北古賀、石橋、中島

令和6年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	②子どもの成長に役立つ図書館
方向性	①子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。
サービス計画に記載した具体例	○子どもと保護者が一緒に利用しやすいサービスの提供 ○子どもと保護者が一緒に楽しめるおはなし会の開催 ○乳幼児と保護者が一緒に本に親しむための取組
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・児童サービス担当職員が健康づくり課主催の「3～6ヶ月児セミナー」に参加して、実際に読み語りをしたり親子で絵本を楽しむ方法などについて話を行う予定だったが、当該セミナー自体は令和4年度に廃止となった。 ・その代替策として、本館での赤ちゃん向けのおはなし会の回数を増やし、その中で親子で絵本を楽しむ方法などの話を行うことで対応する。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R6目標値	R6実績	担当係(館) 担当者
事業内容	本館児童コーナー及び児童カウンターの運営	子ども向けの資料やおはなしの部屋、子どもトイレなどを備えた児童コーナーを運営する。また、児童サービスに精通した職員が常駐する児童カウンターを児童コーナー内に設置する。	通年サービス	① 旧佐賀市の子ども(0～18歳)の利用登録割合(32.9%/R5年度末)	①40.7% ②8.6点 ③96.0%	①32.3% ②7.6点 ③95.7%	サービス二係
			-	② 旧佐賀市の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数(8.0点/R5年度) ③ 本館の児童サービス利用満足度(90.7%/R6年5月調査)			原口
	【大和館】子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 大和町の子ども(0～18歳)の利用登録割合(33.3%/R5年度末)	①40.5% ②7.4点 ③97.7%	①33.3% ②7.1点 ③97.0%	大和館
			-	② 大和町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数(6.8点/R5年度) ③ 大和館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」(94.1%/R6年5月調査)			宮崎
	【諸富館】子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 諸富町の子ども(0～18歳)の利用登録割合(35.7%/R5年度末)	①43.4% ②7.3点 ③97.0%	①35.1% ②6.0点 ③100%	諸富館
			-	② 諸富町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数(6.2点/R5年度) ③ 諸富館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」(100%/R6年5月調査)			大塚
	【東与賀館】子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 東与賀町の子ども(0～18歳)の利用登録割合(46.8%/R5年度末)	①56.7% ②5.6点 ③96.0%	①44.9% ②5.8点 ③100%	東与賀館
			-	② 東与賀町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数(5.0点/R5年度) ③ 東与賀館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」(100%/R6年5月調査)			江頭
	【富士館】子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 富士町の子ども(0～18歳)の利用登録割合(63.6%/R5年度末)	①72.1% ②11.8点 ③100%	①67.7% ②12.4点 ③97.4%	富士館
			-	② 富士町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数(12.3点/R5年度) ③ 富士館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」(100%/R6年5月調査)			詫間

事業内容	【三瀬館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 三瀬村の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (79.4%/R5年度末) ② 三瀬村の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (14.1点/R5年度) ③ 三瀬館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (100%/R6年5月調査)	①73.8% ②16.1点 ③96.0%	①76.5% ②12.6点 ③100%	三瀬館
			-				詫間
	【川副館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 川副町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (26.2%/R5年度末) ② 川副町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (3.1点/R5年度) ③ 川副館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (100%/R6年5月調査)	①33.4% ②3.3点 ③96.0%	①26.4% ②3.8点 ③90.9%	川副館
			-				大塚
	【久保田館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 久保田町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (37.2%/R5年度末) ② 久保田町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (5.4点/R5年度) ③ 久保田館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (90.9%/R6年5月調査)	①44.2% ②5.6点 ③100%	①37.6% ②5.3点 ③100%	久保田館
			-				江頭
	【各分室】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	・分室の児童書貸出点数 (85,897点/R5年度)	105,200点	86,017点	サービス係(分室)
			-				湊
	3歳児以降を対象にした 定例おはなし会の開催(本館) ※年齢はめやす	児童コーナー内のおはなしのへやで、 おはなしボランティアによるおはなし会を 定例で開催する。 (毎月第3木曜、毎週土曜日)	通年サービス	① 実施回数 (60回/R5年度) ② 参加人数 (903人/R5年度)	①63回 ②840人	①61回 ②874人	サービス二係
			-				原口
	小学生向けの定例おはなし会 (本館)の開催	毎月第1土曜日に、児童コーナーの おはなしのへやでボランティア団体 「すばなしの会」による「小学生からの おはなし会(すばなし)」を開催する。	通年サービス	① 実施回数 (11回/R5年度) ② 参加人数 (108人/R5年度)	①11回 ②115人	①10回 ②84人	サービス二係
			-				原口
	赤ちゃん向けの定例おはなし 会(本館)の開催	児童コーナーのおはなしのへやで、 司書による赤ちゃん向けのおはなし会を 定例で開催する。	通年サービス	① 実施回数 (37回/R5年度) ② 参加人数 (613人/R5年度)	①38回(毎週木曜日) 1,032人	①37回 ②729人	サービス二係
			-				原口
	【大和館】 定例おはなし会	毎月第2・4水曜日11時に司書が、 毎月第1・2・3土曜日11時に ボランティア団体がおはなし会を行う。	通年サービス	・参加人数 (409人/R5年度)	340人	414人	大和館
			-				野中・藤木・姉川・ 大坪・山口・堤・斎藤
	【諸富館】 定例おはなし会	第2・4土曜日に、館内の「おはなしのへや」で おはなし会を開催する。「おはなし連絡会 morodomi」と協働で運営を行う。	通年サービス	・参加人数 (182人/R5年度)	100人	89人	諸富館
			-				戸田・松尾
	【東与賀館】 定例おはなし会の開催	毎月第2・4土曜日におはなしの部屋で おはなし会を行う。 おはなし会は、おはなしボランティア 「おおきなかぶ」と司書が協働で行う。	通年サービス	・参加人数 (221人/R5年度)	200人	216人	東与賀館
			-				古賀・山崎・鍋島・蒲原
	【富士館】 えほんのもりおはなし会 (定例おはなし会)	毎月第4土曜日あるいは第2土曜日に おはなし会を行う。月ごとにボランティアと 図書館司書が行う。	通年サービス	・参加人数 (85人/R5年度)	70人	32人	富士館
			-				詫間・野中・岡本・尾崎
	【三瀬館】 定例おはなし会	月1回第3土曜日に、三瀬公民館会議室で おはなし会を行う。 おはなし会は三瀬館司書が行う。	通年サービス	・参加人数 (72人/R5年度)	70人	79人	三瀬館
			-				北古賀・石橋・中島

事業内容	【川副館】 出張おはなし会 (児童館ゴーゴーキッズ おはなし会)	第1火曜日(不定期)に、川副児童館で おはなし会を行う。司書が運営を行う。	通年サービス	・参加人数 (48人/R5年度)	200人	28人	川副館
			-				古賀・西・横溝
	【川副館】 出張おはなし会 (南川副小学校)	最終木曜日に、南川副小学校で おはなし会を行う。司書が運営を行う。	通年サービス	・参加人数 (92人/R5年度)	50人	未実施	川副館
			-				古賀・西・横溝
	赤ちゃん絵本ガイドブックの配布	図書館各館で配布するとともに、 健康づくり課が行っている乳児家庭 全戸訪問の際に配布する。	その他事業	・配布数 (1,750冊/R5年度)	2,000冊	1,650冊	サービス二係
			-				原口
	【諸富館】 季節を感じるための飾りつけ	七夕やクリスマス、ひな祭りなどにあわせて 季節を感じることができる飾りつけを館内で 行う。特に七夕は、来館者が記入する短冊を 笹に結んでもらう参加型の行事とする。	その他事業	・実施回数 (4回/R5年度)	4回	4回	諸富館
			-				大塚
	【東与賀館】 季節を感じるための飾りつけ	七夕やクリスマスにあわせて、来館者が 季節を感じることができる飾りつけを行う。	その他事業	・実施回数 (2回/R5年度)	2回	4回	東与賀館
			-				古賀・山崎・鍋島・蒲原
	【久保田館】 季節を感じるための飾りつけ	七夕やクリスマスにあわせて、来館者が 季節を感じることができる飾りつけを行う。	その他事業	・実施回数 (2回/R5年度)	2回	4回	久保田館
			-				内田・小松・戸谷
	冬のあったかおはなし会 (本館)の開催	子どもと保護者が一緒に楽しむことが できる、冬のあったかおはなし会を 開催する。開催にあたっては、 おはなしボランティア「がらがらどん」と 協働する。	イベント	① 実施回数 (1回/R6年度) ② 参加人数 (32人/R6年度)	①1回 ②50人	①1回 ②32人	サービス二係
			2-1-1				原口
	【大和館】 おはなしだいすきSP	夏休みに手遊びなどを交えたおはなし会を 開催する。	イベント	・参加人数 (21人/R5年度)	36人	23人	大和館
			2-1-2				野中・藤木・姉川・ 大坪・山口・堤・斎藤
	【大和館】 こども映画上映会	夏休みにこども向けの映画を上映する。	イベント	・参加人数 (65人/R5年度)	65人	25人	大和館
			2-1-3				野中・堤・大坪
	【大和館】 春の大きなおはなし会 (ボランティアとの共同開催)	ボランティアグループとの共催で、手遊びや 大型絵本などを交えた規模を拡大した おはなし会を開催する	イベント	・参加人数 (43人/R5年度)	20人	52人	大和館
			2-1-4				藤木・山口・堤
	【諸富館】 こども読書週間イベント (すごろくゲーム)	本を5冊以上借りた子どもに、すごろく型の ゲームに参加してもらう。	イベント	・参加人数 (79人/R5年度)	80人	90人	諸富館
			2-1-5				松尾・戸田
	【諸富館】 ほかほかふゆのおはなし会	クリスマスの近い時期に行うおはなし会。 ハンドベルを使ったり、サンタクロースが プレゼントを配る。	イベント	・参加人数 (54人/R5年度)	60人	49人	諸富館
			2-1-7				松尾・戸田

事業内容	【諸富館】 おでかけおはなし会	諸富館のPR及び利用促進を図るために、 保育園など、各種施設に出向き、 おはなし会や読み聞かせ等を実施する。	イベント	・参加人数 183人(R6年度新規事業)	150人	183人	諸富館
			2-1-8				戸田・藤田・駄原・松尾
	【東与賀館】 クリスマスおはなし会	クリスマスに、おはなしボランティア 「おおきなかぶ」と協働で、乳幼児や 保護者に読み聞かせ等を行う。	イベント	・参加人数 (24人/R5年度)	30人	13人	東与賀館
			2-1-9				古賀・山崎・鍋島・蒲原
	【東与賀館】 春の特別おはなし会	春休みに、おはなしボランティア 「おおきなかぶ」と協働で、乳幼児や 保護者に読み聞かせ等を行う。	イベント	・参加人数 (12人/R5年度)	30人	21人	東与賀館
			2-1-10				古賀・山崎・鍋島・蒲原
	【東与賀館】 こども読書週間イベント	専用カードを期間中に配布。貸出しの際に スタンプを押し、その数に応じて図書館に ちなんだ景品をプレゼントする。	イベント	・参加人数 (38人/R5年度)	50人	52人	東与賀館
			2-1-11				古賀・山崎・鍋島・蒲原
	【富士館】 夏の大おはなし会	ボランティア団体「おはなしのもり」と協働で、 読み語り、ブックトーク、工作などを行う。	イベント	・参加人数 (19人/R5年度)	15人	6人	富士館
			2-1-12				詫間・野中・岡本・尾崎
	【富士館】 冬の大おはなし会	ボランティア団体「おはなしのもり」と協働で、 読み語り、ブックトーク、工作などを行う。	イベント	・参加人数 (3人/R5年度)	20人	5人	富士館
			2-1-13				詫間・野中・岡本・尾崎
	【久保田館】 夏のおはなし会	夏休み期間中におはなし会を開催する。 絵本・紙芝居・パネルシアターなどの 読み聞かせ、手遊び、工作など。おはなし ボランティア「ぐりとぐら」と協働で行う。	イベント	・参加人数 (29人/R5年度)	30人	17人	久保田館
			2-1-14				内田・小松・戸谷
	【久保田館】 クリスマスイベント	クリスマスに合わせ、イベント期間中に アドベントカレンダーのミッションに基づいて 本を借りた方に手づくりのクリスマス オーナメントをプレゼントする。	イベント	・参加人数 (182人/R5年度)	200人	203人	久保田館
			2-1-15				内田・小松・戸谷
	【久保田館】 冬のおはなし会	1～2月中におはなし会を開催する。 絵本・紙芝居・パネルシアターなどの 読み聞かせ、手遊び、工作など。おはなし ボランティア「ぐりとぐら」と協働で行う。	イベント	・参加人数 (27人/R5年度)	20人	26人	久保田館
			2-1-16				内田・小松・戸谷

令和6年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	②子どもの成長に役立つ図書館
方向性	②子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。
サービス計画に記載した具体例	○子どもが新たな知識や本と出会うための取組 ○子どもが図書館や本への興味を持つきっかけづくり ○子どもが情報リテラシーを身につけるための取組 ○郷土に関する調べ学習を支援する取組
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・子ども司書講座を開催するにあたり、受講した子どもたちが読書リーダーとして活躍できるように、市内の小中学校図書館と情報共有や連携を図ることが必要である。 ・電子図書館システムの導入に伴い、子どもたちへログイン方法なども含めたPRが必要である。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R6目標値	R6実績	担当係(館) 担当者
事業内容	おすすめの本小冊子	小学校低学年・中学年・高学年、及び中学生向けに、それぞれを対象とした「おすすめの本」の冊子を、夏休みと冬休みに合わせ年2回作成。市立図書館や児童館で配布する。	通年サービス	・作成回数（2回/R6年度）	2回	2回	サービス二係
			-				原口
	おすすめの本・課題図書の展示	各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	①季節のおすすめの本展示回数（80回/R5年度） ②課題図書展示回数（2回/R6年度）	①80回 ②2回	①90回 ②2回	サービス二係
			-				原口
	ヤングアダルトコーナーの運営	各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	・「おすすめの本紹介」作成回数（4回/R6年度）	4回	4回	サービス二係
			-				原口
	外国語の絵本の収集・提供	日本語を母国語としない子どもや、多様な言語に親しみたい子どもたちのために、多言語の絵本の収集・提供を行う。	通年サービス	・資料点数（1739点/R7.1月末）	1,745点	1,739点	サービス二係
			-				原口
	図書館への手紙(児童)	本館児童コーナーに「図書館への手紙」を送ることができるポストを設置し、手紙と児童コーナー職員からの返事を児童コーナー内で閲覧できるようにする。	通年サービス	・手紙への返事（100%/R5年度）	100%	92%	サービス二係
			-				原口
	郷土に関する文献・情報の調べ方の案内	郷土に関するパスファインダー(特定のテーマに関する文献、情報の探し方や調べ方の案内をまとめた)を学校に紹介するなど、調べ学習に役立つ情報を提供する。	その他事業	・パスファインダー作成及び提供数（12点/R5年度末） ※子どもを対象とした郷土に関する本のリストを作成し、パスファインダーを作成する(R3年度～)。	12点	12点	サービス二係・各分館
			-				宮地

事業内容	電子図書館システム 運用管理事業	「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料の整理・公開」を目的に、電子図書館システムの運用管理を行う。特に子ども(小学生～高校生)をメインターゲットとする。	通年サービス	① 商用コンテンツ利用回数(貸出点数と読み放題資料の閲覧回数合計) (7,126回/R5年度)	①8,400回	12,841回	総務企画係/サービス二係
			-				若松・寺下
	図書館見学・職場体験の受入れ	図書館見学や職場体験の受入れを積極的に実施する。司書資格の取得を目指す生徒には、資格の取得方法等についてもアドバイスを行う。	その他事業	・学校等の都合によるため目標値は設定しない。 ・下記は参考値とする。 ① 見学受入数 (4件/R6年度) ② 職場体験受入数 (2名/R6年度)	-	-	総務企画係
			-				若松
	ポップ・バルーンをとばそう！ (こどもの読書週間)	利用者の声を取り入れ、情報の双方向性を深めるために、「ポップ」による絵本や読み物の紹介を利用者から募る。	イベント	・イベント参加人数 (170人/R6年度)	320人	170人	サービス二係
			2-2-1				原口
	子ども司書講座	小中学生を対象とした「子ども司書講座」を開催する。	イベント	① 講座開催回数 (4回連続/R6実績) ② 参加人数 (1人/R6実績)	①4回連続 ②10人(定員)	①4回連続 ②1人	サービス二係
			2-2-2				原口・陣内
	手づくり絵本教室/作品展	専門の講師による手作りの絵本を作成する体験教室を行う。また、「手づくり絵本作品展」を行い、優秀作品は電子図書館システムで公開する。	イベント	① 教室開催回数 (3回/R6年度) ② 教室参加人数 (延べ104人/R6年度) ③ 作品展応募人数 (9人/R6年度)	①3回連続 ②90人 ③30人	①3回連続 ②のべ104人 ③9人	サービス二係
			2-2-3				原口
	調べる学習小学生講座/コンクール	小学生を対象に、図書館を使った調べる学習を体験してもらう講座を開催する。また、「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールを開催し、優秀作品を全国コンクールへ推薦する。	イベント	① 講座参加人数 (16人/R6年度) ② コンクール応募数 (16作品/R5年度)	①20人 ②50作品	①16人 ②19作品	サービス二係
			2-2-4				レファ担当・児童担当
	「みんなで読もう！オススメ本」	県内の著名人が推薦する児童書や絵本と推薦文を展示する。	イベント	展示月(3-4月)の本館児童書(雑誌含む)貸出点数： 47,334点 (R6年3-4月)	50,000点	47,334点	サービス二係
			2-2-5				原口
	図書館たんけん隊	小学生を対象にした館内見学ツアーを開催する。	イベント	・参加人数 (6人/R6年度)	10人	6人	総務企画係
			2-2-6				豊福
	一日こども図書館長	こどもの読書週間をPRするため、近隣の小学校に通う児童(2名)に一日図書館長を体験してもらう。また、テレビ局や新聞社に情報提供を行い、取材活動を促す。	イベント	・赤松小学校 (2人/R6年度)	2人	2人	総務企画係
			2-2-7				豊福
	夏休み理科自由研究の支援 「君を助け隊」の開催	小中学生を対象に、夏休みの自由研究の目的やテーマの決め方、調査方法やまとめ方などについて、専門の講師を招いて個別指導を行う。	イベント	① ポイント編 (14人/R6年度) ② まとめ編 (10人/R6年度)	①15人 ②10人	①14人 ②10人	総務企画係
			2-2-8				豊福
	【大和館】 こどもの読書週間イベント ＜図書館で人生ゲーム＞	本を借りて、サイコロをふる。サイコロの出た数でマスすすみ、ゴールを目指す。参加者にはプレゼントがある。	イベント	・参加人数 (267人/R5年度)	270人	209人	大和館
			2-2-9				姉川・藤木・山口・堤
	【大和館】 夏休み小学生司書のお仕事体験	夏休み期間中の小学生に、貸出や返却などのカウンター業務や、書架整理など、司書の仕事を体験してもらう。	イベント	・参加人数 (4人/R5年度)	4人	3人	大和館
			2-2-10				姉川・山口・堤

事業内容	【東与賀館】 夏休みイベント	夏休み期間中の子どもを対象としたスタンプラリーを実施する。押印した数に応じてプレゼントを配布。	イベント	・参加人数（224人/R5年度）	250人	186人	東与賀館
			2-2-12				古賀・山崎・鍋島・蒲原
	【富士館】 わくわくスタンプチャレンジ	本の貸出(1日1回まで)につき、スタンプを押す。一定数集めるごとにプレゼントを配布。こどもの読書週間は「わくわくスタンプダブルスタンプキャンペーン」を行う。 ※通年イベント(対象は中学生以下)	イベント	・配布枚数（100枚/R5年度）	100人	90人	富士館
			2-2-13				詫間・野中・岡本・尾崎
	【富士館】 ほんの森の春まつり2025 (こどもの読書週間)	子ども向けに、図書館や本に関するクイズ「ミッション・イン・ライブラリー」を行う。イベント期間中は中学生以下を対象に、「わくわくスタンプダブルスタンプキャンペーン」も行う。	イベント	・参加人数（41人/R5年度）	50人	41人	富士館
			2-2-14				詫間・野中・岡本・尾崎
	【富士館】 図書館オリエンテーション	富士校小学部と協働で実施。学校に出向き、全学年の児童に向けて市立図書館の使い方やブックトーク、おすすめの本を紹介する。	イベント	・中止(R5年度)	全学年で実施	71人	富士館
			2-2-15				詫間・野中・岡本・尾崎
	【富士館】 図書館見学	富士校小学部及び北山校小学部と協働で実施。図書館内の見学、ブックポスト、児童からの図書館に関する質問に答える。また、おはなし会やイベントの案内を行う。	イベント	① 参加人数 20人(R5年度:富士校11人+北山校9人) ② 富士町在住の7～9歳の利用登録率（53.6%/R5年度末） ※37人/69人	①富士校10人程度、 北山校6人程度 ②67.1%	①19人 ②66.7%	富士館
			2-2-16				詫間・野中・岡本・尾崎
	【川副館】 こどもの読書週間イベント 「こども読書ビンゴ」	読書に関する項目のビンゴカード用意し、貸出本に対してスタンプを押印。ビンゴのそろった列数に応じて景品をプレゼント。	イベント	・参加人数（19人/R5年度）	50人	23人	川副館
			2-2-17				古賀・西・横溝
	【三瀬館】 こどもの読書週間イベント 「本を借りてプレゼントを もらおう」	こどもの読書週間に合わせてイベントを実施する。	イベント	・参加人数（55人/R5年度）	80人	73人	三瀬館
			2-2-18				北古賀・石橋・中島
	【三瀬館】 2025夏読書がんばりカード	三瀬小学校と連携し、図書館利用を増やす取組みや、貸出のたびにシールを貼る台紙を配布する。シールを多く集めた子は学校で表彰。三瀬小以外の参加者は図書館で表彰する。	イベント	・参加人数（30人/R5年度）	50人	59人	三瀬館
			2-2-19				北古賀・石橋・中島
	【三瀬館】 図書館見学	三瀬小学校と協働で実施。ブックポストや閉架書庫など、普段入れない場所を見学させるとともに、質問に答える。また、おはなし会やイベントの案内を行う。	イベント	① 参加人数（12人/R5年度） ② 三瀬村在住の7～9歳の利用登録率（85.0%/R5年度末） ※17人/20人	①2年生10人程度 ②79.2%	①44人 ②100%	三瀬館
			2-2-20				北古賀・石橋・中島
	【久保田館】 スタンプラリー (春と夏のイベント)	春休みと夏休みに実施。課題を達成する毎に台紙にシールを貼り、その数に応じて景品をプレゼントする子ども向けイベント。	イベント	① 春の参加人数（75人/R5年度） ② 夏の参加人数（106人/R5年度）	①70人 ②110人	①105人 ②123人	久保田館
			2-2-21				内田・小松・戸谷
	【久保田館】 こどもの読書週間イベント	4月下旬～5月中旬。こどもの読書週間に合わせて、おすすめの本を紹介するPOPを作成してもらい、館内に掲示する。POPを作成した子どもにはプレゼントを配布する。	イベント	・参加人数（65人/R5年度）	70人	84人	久保田館
			2-2-22				内田・小松・戸谷

令和6年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	②子どもの成長に役立つ図書館
方向性	③子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。
サービス計画に記載した具体例	○資料の団体貸出や除籍資料の配布 ○読書や読み語りに関する情報提供や相談受付 ○読み語りボランティア活動の支援
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・子どもにとって一番身近な図書館である学校図書館について、電子図書館システムの活用も含め、団体貸出に留まらない支援のあり方や情報交換の機会について検討する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R6目標値	R6実績	担当係(館) 担当者
事業内容	団体貸出サービス(学校団体)	佐賀市内の市立小中学校を対象に団体貸出を行う。	通年サービス	① 年間利用学校団体数 (51団体/R5年度) ② 学校団体への年間貸出点数 (9,617点/R5年度)	①51団体 ②12,000点	①51団体 ②10,132点	総務企画係・各分館・各分室
			-				豊福
	おはなし会用資料の貸出	各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	・貸出点数 (83点/R5年度)	115点	86点	サービス二係
			-				原口
	除籍資料の配布 (市立小中学校・市関連施設)	図書館本館で除籍した図書や雑誌を、市立の小中学校や、保育所、児童館等、市の子どもの育成に関連する施設に配布を行う。	通年サービス	① 小中学校への配布数 (2,552点/R5年度) ② 児童館等への配布数 (291点/R5年度) ※一係対応分のみ	①2,200点 ②600点	①2,559点 ②429点	サービス一係
			-				内山
	学校図書館への支援のあり方検討	学校図書館との情報交換により、学校図書館への支援のあり方を検討する。	通年サービス	※指標の設定なし	-	-	総務企画係・サービス二係
			-				豊福、原口
	保育園・幼稚園・認定こども園等への情報提供や相談受付	佐賀市立図書館や読み語りに関する情報提供を行うとともに、読み語り等に関する相談に対しアドバイスを行う。	通年サービス	・情報提供回数 (0回/R5年度)	2回	0回	サービス二係
			-				原口
	読み語り講座の開催 (読み語りボランティア養成講座から変更)	子育て中の人や読み語りに興味のある人、ボランティア活動をしている人が、読み語りの必要性や基礎知識、技術等を学ぶ。	イベント	① 開催回数 (2回/R6年度) ② 受講人数 (延べ58人/R6年度)	①2回 ②40人	①2回 ②のべ58人	サービス二係
			2-3-1				寺下・内山

令和6年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	③多様な人々が集う図書館
方向性	①市民のサードプレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。
サービス計画に記載した具体例	○わかりやすい案内サービス ○多様なスペースの提供 ○安心して使用できる居心地のいい空間の提供
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・館内の案内表示については、多言語による案内や視覚的に伝わりやすいピクトグラムなどの使用も考慮しながら、それぞれの内容に合わせて分かりやすい物に更新していく必要がある。また、各コーナーにおいて各担当者により必要な案内表示の修正、追加について検討することも必要である。 ・館内施設の貸出や学習室の利用など、資料の閲覧や貸出など以外に図書館で利用できるサービスについて、市民に分かりやすく伝えるために複数枚の写真や動画などをホームページ等に掲載するなど工夫する必要がある。 ・市民が利用しやすいスペースを提供するためには、大規模改修計画と合わせて進めていく必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R6目標値	R6実績	担当係(館) 担当者
事業内容	わかりやすい案内表示	図書館内の案内表示について点検を行い、老朽化したものやわかりづらいものがある場合は随時更新していく。	通年サービス	※指標の設定なし	-	-	総務企画係・各分館・分室
			-				豊福
	閲覧スペースの設置	各館に利用者が自由に読者や調べものなどができる閲覧スペースを設置する。	通年サービス	※指標の設定なし	-	-	総務企画係・各分館
			-				若松
	ギャラリー/多目的ホール等の貸出	講演会や発表会、コンサート等で利用できるよう、市内で活動する団体向けに本館施設の一部を貸出する。	通年サービス	・施設使用件数（284件/R5年度 （多目的ホール 83件、大集会室 98件、和室60件、 研修室 2件、中央・ロビーギャラリー 42件）	250件	248件	総務企画係
			-				豊福
	学習室の設置	本館及び大和館に学習室を設置する。	通年サービス	・利用人数(本館)（9,884人/R5年度） ※本館は学習室 26席、フリー学習コーナー 20席設置 ※大和館は学習室31席、利用人数はカウントしていない。	8,000人	10,955人	総務企画係・大和館
			-				豊福・宮崎
	喫茶室の設置	本館利用者の食事や休憩などに利用できるよう、喫茶室を設置する。	通年サービス	※指標の設定なし	-	-	総務企画係
			-				若松

事業内容	屋外読書スペースの設置	飲食や休憩、読書など多目的で利用できる屋外読書スペースを設置。椅子や机は、劣化状況を確認しながら入替を検討する。	通年サービス	※指標の設定なし	-	-	総務企画係
			-				若松
	施設の定期点検・修繕	休館日を利用して施設の定期点検を行い、修繕を要す箇所については随時、修繕を行う。	その他事業	① 開館中の空調の停止発生件数：0回 ② 開館中のエレベーター停止回数：0回	①0回 ②0回	①0回 ②0回	総務企画係
			-				若松
	施設の定期清掃	施設内の清掃を毎日行う。 また、閲覧スペースのワックスがけなど大規模な清掃については休館日を利用して実施する。	その他事業	① 日時清掃：全開館日及び特別整理期間中の最終の2日間 ② 全館ワックスがけ：年2回 ③ カウンター廻りのワックスがけ：年6回 ※いずれもR5年度	①全開館日、及び特別整理期間中の最終2日間 ②年2回 ③年6回	①全開館日、及び特別整理期間中の最終2日間 ②年2回 ③年6回	総務企画係
			-				若松
	施設の警備	開館時は警備員を常駐させて警備を行う。 夜間や閉館日は機械警備を実施する。	その他事業	※指標の設定なし	-	-	総務企画係
			-				若松

令和6年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	③多様な人々が集う図書館
方向性	②日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。
サービス計画に記載した具体例	○日本語を母国語としない人へのサービス ○障がいにより図書館の利用や読書が困難な人へのサービス ○高齢者を対象としたサービス
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・日本語を母国語としない人が図書館を利用しやすいように、市内在住者の母国語の傾向に合わせて、外国語での図書館利用案内の作成や多言語の表示を追加する必要がある。ただし、多くの表示を多言語化することは表示スペース的にも困難なため、主なものを多言語表示として、それ以外のものは「やさしい日本語」を使用するなど内容によって工夫していく必要がある。 ・市内在住者の母国語の傾向や日常の情報行動を調査し、今後の外国語資料のあり方を検討する必要がある。 ・令和元年6月に読書バリアフリー法が施行されたことに伴い、佐賀県立点字図書館などと連携しながら、視覚障がい、発達障がい、肢体不自由などの障がいによって読書が困難な人々に対するサービスのあり方を再検討する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R6目標値	R6実績	担当係(館) 担当者
事業内容	ハンディキャップサービスコーナーの運営	本館ハンディキャップサービスコーナーの運営を行う。	通年サービス	※指標の設定なし	-	-	サービス係
			-				測
	郵送・宅配サービスの実施	視覚障がいや身体が不自由などのため来館が困難、かつ家族の支援が受けられない市民を対象に、無料で郵送・宅配による貸出を行う。	通年サービス	① 登録人数 (8人/R5年度) ② 実施件数 (66件/R5年度)	①10人 ②100件	①9人 ②61件	サービス係
			-				測
	マルチメディアデジター図書の提供	文字や音声、画像を同時に再生できる電子書籍「マルチメディアデジター図書」の収集・提供を行う。	通年サービス	① 所蔵数 (54点/R5年度) ② 新規受入点数 (0点/R5年度)	①57点 ②3点	①54点 ②0点	サービス係
			-				測
	対面朗読サービスの実施	本館ハンディキャップサービスコーナー内で、ボランティアによる対面朗読サービスを行う。	通年サービス	・実施日数 (50日/R5年度)	51日	50日	サービス係
			-				測
	拡大読書機・虫眼鏡・老眼鏡の提供	小さな文字が見えにくい方のために、拡大読書器や虫眼鏡、老眼鏡の提供を行う。	通年サービス	※指標の設定なし	-	-	サービス係・各分館・各分室
			-				測
	大活字本の提供	小さな文字が見えにくい方のために、大活字本の収集・提供を行う。	通年サービス	① 所蔵数 (1,584点/R5年度) ② 貸出点数 (3,033点/R5年度)	①1,590点 ②3,500点	①1,704点 ②3,057点	サービス係・各分館・各分室
			-				測

事業内容	読書バリアフリー法への対応方針の検討	関連団体や関連部署と連携しながら、障がいによって読書が困難な人々に対するサービスのあり方を検討する。	その他事業	※指標の設定なし	-	-	サービス一係
			-				測
	高齢者向けサービスのあり方検討	認知症支援や高齢者の生きがいづくりなど、高齢者向けのサービスのあり方を検討する。	その他事業	※指標の設定なし	-	-	サービス一係
			-				内山
	電子図書館システム運用管理事業	「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料（行政資料・郷土資料・市民の学習成果等）の整理・公開」を目的に、電子図書館システムの運用管理を行う。特に子ども(小学生～高校生)をメインターゲットとする。	通年サービス	① 電子書籍の提供点数 1,083点 (R6.12.24時点) ② リフロー型書籍の提供点数 478点+21点 (R6.12.24時点) ③ 音声/動画コンテンツの提供点数 45点+100点 (R6.12.24時点)	①1,000点 ②460点 ③150点	①1,941点 ②343点 ③0点	総務企画係/サービス一係
			-				若松・真子
	外国語資料のあり方の検討及び収集・提供	外国籍の方の居住実態等を参考にしながら外国語資料の収集を継続して行うとともに、今後の方針について検討を行う。	その他事業	① 資料点数 (5,838点/R5年度末) ② 貸出回転率 (0.27回/R5年度)	①5,820冊 ②0.29回	①5,830冊 ②0.24回	サービス二係
			-				西村
	多言語での図書館サービス案内	図書館内の案内表記の多言語化を検討し、順次実施していく。	その他事業	・タガログ語による利用案内の作成 (R5年度)	-	-	総務企画係
			-				豊福

令和6年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	④市民と共に変革を進める図書館
方向性	①限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。
サービス計画に記載した具体例	○年度事業計画の策定と管理 ○司書の確保と資質向上への取組 ○業務効率化や外部資金活用のための取組 ○図書館要覧の作成 ○長期的な視点での本館施設の管理 ○危機管理や業務継続性に関する取組 ○将来の図書館サービスのあり方の検討 ○環境に配慮した取組
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・目標の達成に向けて、事業計画の進捗管理や事業・体制の改善を行っていく必要がある。 ・新型コロナウイルス等の感染症や災害時にサービスを継続させるための体制づくりを行う必要がある。 ・本館大規模改修に向けた準備を進める必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の目的	種別 企画書	指標(実績)	R6目標値	R6実績	担当係(館) 担当者
事業内容	年度事業計画の策定と管理	第3次佐賀市立図書館サービス計画に基づき、年度事業計画を策定する。 また、事業やサービスの進捗管理を行う。	その他事業	・R5年度第3回(委員改選年度)佐賀市立図書館協議会に年度事業計画を諮った。	R5年度第3回佐賀市立図書館協議会に年度事業計画を諮る。	計画通り実施	総務企画係
			-				増本
	県内の公共図書館との情報交換	年度事業計画の策定や図書館サービスの参考とするため、県内の公共図書館の担当者会議に出席するなどして、県内の公共図書館との情報交換を行う。	その他事業	・担当者会議への出席回数(1回/R6年度)	2回	1回	総務企画係
			-				北島
	図書館要覧の作成	市立図書館の概要(沿革、施設、理念、事業、各種統計など)を記載した図書館要覧を毎年作成し、ホームページで公開する。	その他事業	・公開状況(8/4にホームページで公開/R6年度)	8/9までに公開	8/4公開	総務企画係
			-				北島
	【重点事業】 本館大規模改修事業	R5～6年度 基本構想・基本計画の策定、 R6～8年度 設計業務 ～R10年度中 改修工事 R10年度中 完成及び開館	その他事業	・大規模改修基本構想・基本計画素案を策定(R5年度)	・大規模改修基本構想・基本計画の策定 ・基本設計の着手	・基本構想・基本計画の策定 ・基本設計の着手	総務企画係
			-				峰松
	図書館実習生の受入	司書資格を持つ人材を育成するため、本市出身者や市内在住者を中心に図書館実習生の受入を行う。	その他事業	・受入人数(6人/R6年度)	学校都合によるため目標値としては設定しない。	6人	総務企画係
			-				豊福
	司書の資質向上のための管内全体研修の実施	年に10回程度の館内全体研修を行う。	その他事業	・実施回数(8回/R5年度)	10回	7回	総務企画係
			-				北島

事業内容	佐賀県立図書館主催の研修への参加	県立図書館及び佐賀県公共図書館協議会が主催する研修に参加する。	その他事業	① 佐賀県立図書館主催研修への参加人数 (のべ13名/R5年度)	①20名(5名×4回) ②6名(3名×2回)	①のべ16名 ②のべ3名	総務企画係
			-	② 佐賀県公共図書館協議会主催研修への参加人数 (のべ4名/R5年度)			北島
	児童サービス研究会・レファレンスサービス研究会への参加	佐賀県公共図書館協議会が開催する「公共図書館児童サービス研究会」及び「公共図書館レファレンスサービス研究会」に担当職員が参加する。	その他事業	① 児童サービス研究会への参加人数 (のべ34名/R5年度)	①40名(10名×4回) ②36名(9名×4回)	①のべ34名 ②のべ21人	サービス二係・各分館
			-	② レファレンスサービス研究会への参加人数 (のべ34名/R5年度)			原口・宮地
	専門職である司書の確保	司書資格を持つ優秀な人材の採用に努める。	その他事業	・会計年度任用職員(司書)の欠勤減額が発生した日数 (0日/R5年度)	0日	0日	総務企画係
			-				北島
	災害や感染症蔓延時の図書館サービスのあり方検討	水害などの災害や、感染症蔓延などの際の図書館の施設やサービスのあり方について検討を行う。	その他事業	※指標の設定なし	-	-	総務企画係
			-				峰松
	消防・水防訓練の実施	火災等に備えて、消防訓練等を年に1回以上実施する。	その他事業	①消防訓練の実施回数 (1回/R5年度) ②水防訓練の実施回数 (1回/R5年度)※止水板設置訓練	年1回 ※消防訓練に加えて、6月までに水防訓練を実施予定	①1回 ②1回 ※止水板設置	総務企画係
			-				峰松
	図書館情報ネットワークシステムの安定的な運用と次の更新に向けた準備	業務システムの安定的な運用を継続するとともに、電算システムの更新を行う。	その他事業	大規模な障害発生回数 (0回/R5年度)	1回	0回	総務企画係
			-				若松
	佐賀市スーパーアプリとの連携	佐賀市スーパーアプリと連携し、デジタル利用カードやシングルサインオンによるアプリでのワンストップサービスを実現する。	その他事業	※指標の設定なし	-	-	総務企画係
			-				若松
	雑誌スポンサー制度の運用	雑誌スポンサー制度の新たな運用方法、またはこれに代わるやり方を検討する。	その他事業	※指標の設定なし	-	-	総務企画係
			-				富吉
	全国の先進図書館の事例収集や有識者による講座への参加	全国図書館大会や全国公共図書館研究集会への参加等により、全国の先進図書館の事例や最新の研究について情報収集を行う。	その他事業	① 全国図書館大会への参加人数 (0人/R5年度) ② 全国公共図書館研究集会への参加人数 (0人/R5年度)	①1人 ②1人 ※リモート参加を予定	①0人 ②0人	総務企画係
			-				北島
	太陽光パネルによる自家発電の実施	本館屋上に設置した太陽光パネルで自家発電した電気を施設の運用に利用する。	その他事業	・平均発電量 2,968kwh/月 (R5年度)	3,000kwh/月	2,538kwh/月	総務企画係
			-				若松
	資料のリユース(団体・市民への頒布)	除籍資料を、市立小中学校のほか、市の関連施設や市内の各種団体、市民に対して頒布する。	その他事業	① 各種団体への提供回数 (3回/R6年度) ② 市民への提供回数 (2回/R6年度)	①3回(R5同等) ②2回(R5同等)	①3回 ②3回	サービス一係
			-				内山
	【大和館】ブックリサイクル ※再掲	大和館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。	イベント	① 配布数 (4,612点/R5年度) ② 参加人数 (924人/R5年度)	①4,600点 ②1,050人	①3,083点 ②648人	大和館
			1-3-8				藤木、野中、姉川、大坪、山口
	【諸富館】ブックリサイクル ※再掲	諸富館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。	イベント	・配布数 1,125冊 (1回目:341冊/R5.6実績、2回目:784冊/R5.12実績)	1,000点	2,729点	諸富館
			1-3-11				藤田

事業内容	【東与賀館】 ブックリサイクル ※再掲	東与賀館の除籍した図書・雑誌を、 利用者に無償で譲渡する。	イベント	①-1 除籍(図書)資料の配布数(648点/R5.10～11実績) ②-1 図書リサイクル参加人数(179人/R5.10～11実績)	①1,500点 ②350人	①2,461点 ②508人	東与賀館
			1-3-12	①-2 除籍(雑誌)資料の配布数(649点/R5.1～2実績) ②-2 雑誌リサイクル参加人数(141人/R5.1～2実績)			古賀・山崎・鍋島・蒲原
	【久保田館】 ブックリサイクル ※再掲	久保田館の除籍した図書・雑誌を、 利用者に無償で譲渡する。	イベント	① 配布数(25点/R5年度) ② 参加人数(8人/R5年度)	①30点 ②15人	①44点 ②20人	久保田館
			1-3-24				内田・小松・戸谷

令和6年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	④市民と共に変革を進める図書館
方向性	②市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくります。
サービス計画に記載した具体例	○市民団体やボランティアとの協働 ○有識者や市民の意見の活用
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・ボランティア同士の交流や図書館職員と意見交換ができる機会が必要である。(ボランティアアンケートの意見より)

サービス・事業

	内容	サービス・事業の目的	種別 企画書	指標(実績)	R6目標値	R6実績	担当係(館) 担当者
事業内容	「図書館を友とする会・さが」との協働	イベントの共催や意見交換会への館長の出席等を継続して実施する。	その他事業	①「図書館を友とする会・さが」との共催イベント回数 (1回/R5年度)	①協働事業2回 ②意見交換会1回	①1回 ②1回	総務企画係
			-	②意見交換会への館長の出席 (1回/R5年度)			増本
	おはなしボランティアとの協働	おはなしボランティアと協働し、定例や季節のおはなし会を開催する。	その他事業	①読み語りボランティアを対象としたアンケートでの総合的な満足度(本館) 91.6%(R6年度)	①本館:80% ②172回(本館:75、大和:35、諸富:24、東与賀:24、富士:12、久保田:2)	①本館:91.6% ②163回(本館:72、大和:33、諸富:23、東与賀:21、富士:12、久保田:2)	サービス二係・各分館
			-	②おはなし会の開催回数 159回 (本館:71回、大和:34回、諸富:23回、東与賀:22回、富士:7回、久保田:2回)(R5年度)			原口、各分館長
	対面朗読ボランティアとの協働	対面朗読ボランティアと協働し、本館ハンディキャップサービスコーナーで対面朗読サービスを行う。	その他事業	①対面朗読ボランティアの満足度 (75.0%/R6年度)	①70% ②51日	①75.0% ②50日	サービス一係
			-	②対面朗読サービスの実施日数 (50日/R5年度)			吉本・瀏
	園芸・植栽・館内の花のお世話のボランティアとの協働(本館)	外周部の植栽や花壇、館内の花のお世話をを行うボランティアに対し、肥料や苗、備品や消耗品の提供を行う。また、ボランティア活動保険の保険料を図書館で負担する。	その他事業	※指標の設定なし	-	-	総務企画係
			-				若松
	市民団体やボランティアを対象としたアンケート調査の実施	図書館で活動する市民団体やボランティアを対象とし、活動の実態や満足度を把握するためにアンケート調査を実施する。	その他事業	・調査回数 (1回/R6年度)	1回	1回	総務企画係
			-				若松
	図書館への手紙(一般)	利用感想などを記載して、図書館に送るポストを本館に設置するとともに、手紙と図書館の返事について、館内やホームページで閲覧できるようにする。	その他事業	・一週間以内の返答率 (85.7%/R5年度)	90%		総務企画係
			-				富吉

事業内容	図書館協議会の開催	有識者と公募委員で構成される図書館長の諮問機関である「図書館協議会」を年に2回開催し、図書館の運営やサービスについて諮問を行う。	その他事業	・開催回数 2回 ※R7年度から委員改選年度も2回に変更	3回 ※委員改選年のため	2回	総務企画係
			-				増本・北島
	対面朗読ボランティア初級養成講座の実施	新たにボランティア活動を希望する人や、既にボランティア活動中の人を対象に対面ボランティア養成講座を開催する。	イベント	① 開催回数 (1回/R5年度) ② 受講人数 (19人/R5年度) ③ 対面朗読ボランティアを対象としたアンケートでの「研修の充実」に対する満足度 (46.4%/R6年度)	①1回 ②20人(定員) ③55%	①1回 ②19人 ③46.5%	サービス一係
			4-2-1				淵
	読み語り講座の開催※再掲	子育て中の人や読み語りに興味のある人、ボランティア活動をしている人が、読み語りの必要性や基礎知識、技術等を学ぶ。	イベント	① 開催回数 (2回/R6年度) ② 受講人数 (延べ58人/R6年度)	①2回 ②40人	①2回 ②のべ58人	サービス二係
			2-3-1				内山・廣重
	【新規】イベント実施に係る一般公募のボランティア、学生ボランティアとの協働(本館)	図書館が実施するイベントの準備・運営に参加するボランティアを募集。一般の方についてはボランティア活動保険の加入料を図書館で負担する	イベント	※指標の設定なし	-	-	サービス一係
			1-3-2				内山

佐賀市立図書館利用者アンケート結果（令和6年度）

実施期間：令和7年4月25日（金） から 令和7年5月28日（水）まで

回答総数：804（うち、WEB 回答119）

内訳：

本館：516（77） 大和：63（4） 諸富：52（10） 富士：64（0） 東与賀：43（13）

三瀬：13（1） 川副：27（3） 久保田：25（10） 分室：1（1）

問1 年齢・利用者登録（お住まい）についてお答えください。（令和7年5月1日時点の年齢でお答えください。）

【年齢】

回答内容	今年度回答		(参考)昨年度回答	
	回答数	割合	回答数	割合
12歳以下	70	8.7%	64	12.7%
13歳～18歳	22	2.7%	9	1.8%
19歳～29歳	26	3.2%	12	2.4%
30代	69	8.6%	54	10.8%
40代	117	14.6%	82	16.3%
50代	119	14.8%	73	14.5%
60代	184	22.9%	104	20.7%
70代以上	186	23.1%	90	17.9%
未回答	5	0.6%	14	2.8%

798

502

【利用登録(住まい)】

回答内容	今年度回答			(参考)昨年度回答		
	回答数	割合		回答数	割合	
利用登録有（佐賀市在住）	698	95.7%	86.8%	425	89.7%	84.7%
利用登録有（広域圏内）	30		3.7%	19		3.8%
利用登録有（通勤通学）	5		0.6%	0		0.0%
利用登録有（その他）	3		0.4%	2		0.4%
利用登録有（不明）	0		0.0%	4		0.8%
利用登録無（佐賀市在住）	22	3.6%	2.7%	11	2.8%	2.2%
利用登録無（広域圏内在住）	2		0.2%	1		0.2%
利用登録無（広域圏外在住）	6		0.7%	2		0.4%
利用登録無（不明）	0		0.0%	0		0.0%
不明	14	1.7%	1.7%	38	7.6%	7.6%

780

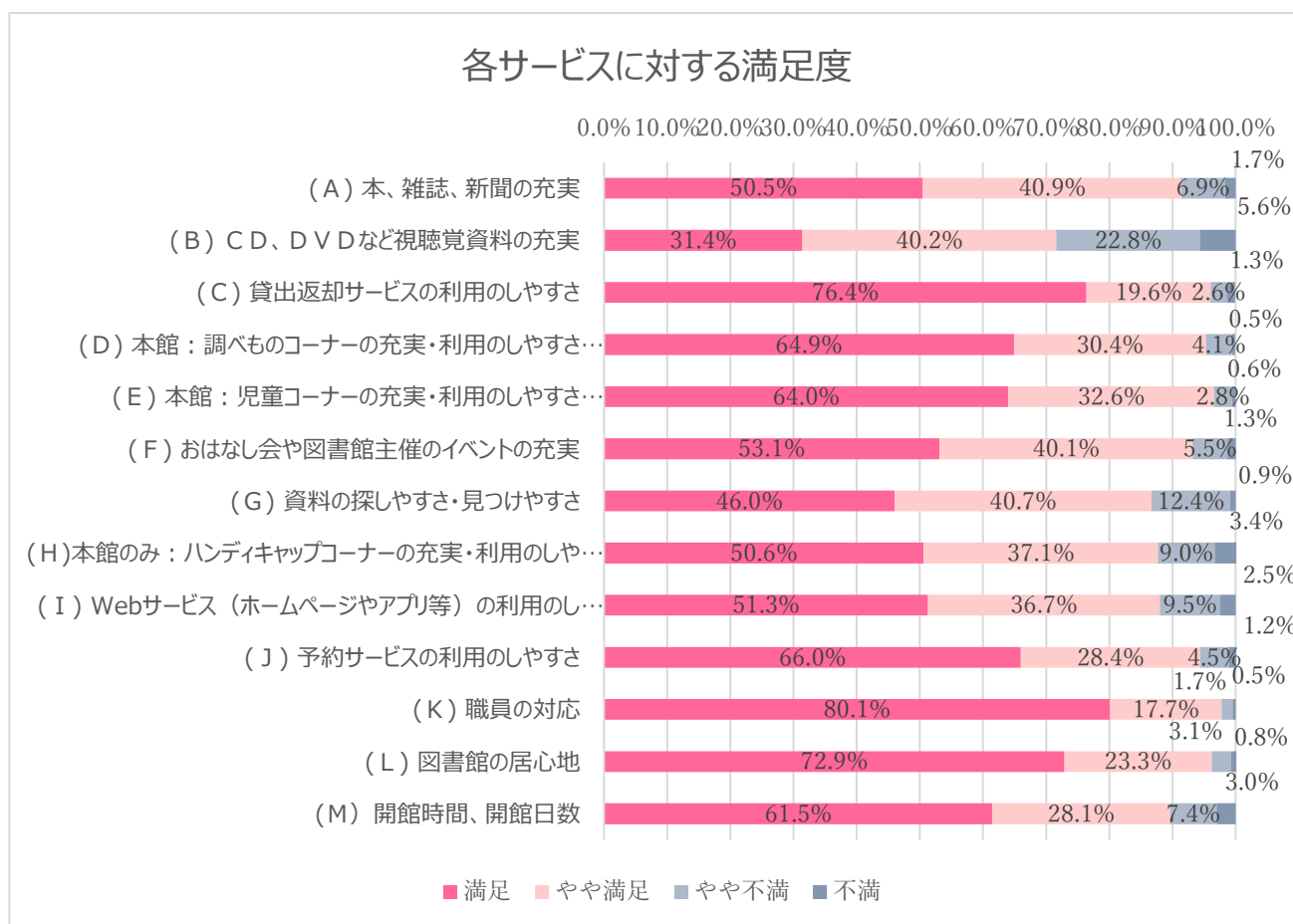
502

問2 佐賀市立図書館への満足度について、あてはまるものに○をつけてください。

回答内容	今年度回答			(参考)昨年度回答		
	回答数	割合		回答数	割合	
満足	551	93.9%	68.5%	316	87.4%	62.9%
やや満足	203		25.2%	123		24.5%
やや不満	25	3.9%	3.1%	11	2.8%	2.2%
不満	6		0.7%	3		0.6%
未回答	18	2.2%	2.2%	49	9.8%	9.8%
803				502		

問3 佐賀市立図書館の各サービスについての満足度を教えてください。

※未回答及び「わからない・利用しない」を母数から除く



重点事業実施計画表(令和3年度～7年度)

課 題					
基本目標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1.個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館	未利用者をターゲットにした広報のあり方検討	利用者用無線LANAP増設事業	ビジネス支援・郷土資料分野についてのサービスのあり方検討	学習成果を発表する機会を提供するための取組	↑
				視聴覚資料・マンガ資料の収集方針検討	
	おはなし会やイベントの再開(コロナ関連)			子どもの利用登録率や貸出点数を増加させるための取組	
2.子どもの成長に役立つ図書館	郷土に関する資料等の情報を小中学校への提供	↑		図書館と接点がない保護者に対して興味を持ってもらう取組	↑
	小中学校図書館と連携した子ども司書講座の開催	↑	学校図書館との情報交換や支援のあり方検討	↑	
	「新しい生活様式」にあわせた図書館のあり方検討(コロナ関連)	↑		高齢者が健康で生きがいを持って生活するために図書館ができることの検討	↑
3.多様な人々が集う図書館	外国語での図書館サービス案内作成や多言語の表示を追加	↑	↑	今後の外国語資料のあり方検討	
		電子図書館システム試験導入事業(構築)	電子図書館システム試験導入事業(運用・効果検証)	電子図書館システム運用管理事業	↑
		読書が困難な人々に対するサービスに関する県内の状況調査	障がいにより読書が困難な人々に対するサービスのあり方再検討	↑	
4.市民と共に変革を進める図書館	施設整備計画(令和4～8年度)の策定	・本館の一部改修 ・大規模改修実施計画策定	・本館の一部改修 ・大規模改修事業(R5:基本構想・基本計画策定)	大規模改修事業(R6:基本構想・基本計画、R6～7:基本設計・実施設計)	大規模改修事業(R6～7:基本設計・実施設計)
	電算システム更新に向けて機能等の検討(電子書籍・RPAの導入検討)	図書館情報ネットワークシステム更新事業(R4:要件定義等作成)	図書館情報ネットワークシステム更新事業(R5:システム更新)	業務継続性の向上や危機管理に関する取組	↑
	ボランティアの活動機会を確保するための取組(コロナ関連)		業務効率化や外部団体等との協力・連携、外部資金の活用について検討	↑	
			講演会等へ参加し職員の資質向上や将来のサービスのあり方検討	↑	

令和7年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	学習成果を発表するための取組					
事業年度	令和7年度(単年度)	令和7年度事業費	115千円	担当係・担当者	総務企画係 サービス一係 サービス二係	豊福 吉本 宮地
関連する基本目標/方向性	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館 方向性④:市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。					

事業概要 (目的・内容)	図書館の役割として、市民の生涯学習のための資料や情報の提供や各種講座等のイベントの開催だけでなく、それらも含め、市民が学んだ学習の成果を発表する機会を提供することも重要であるとする。 現在、多目的ホールやギャラリー等の館内施設の貸し出しについては、団体に限定して貸し出しを行っているため、個人単位での学習の成果を発表できる機会の提供はできていない。 そこで、より多くの市民に学習の成果を発表できる機会を提供するために、図書館主催による個人の作品を集めた展示会等の開催などを検討する。この他に、現在行っている以下の事業についても引き続き継続していく。 ○電子図書館での「調べる学習コンクール優秀作品」の登録による提供 ○図書館主催による「対面朗読ボランティア初級養成講座」および「読み語り講座」の開催 ○「花ボランティア」による館内の花による飾り付けについて、図書館公式Instagramでの発信 ○図書館の施設を利用し編集等されている詩誌「立夏」、「扉」の受け入れによる図書館資料としての提供																
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	○図書館の大規模改修を踏まえて多目的ホールやギャラリー等の2階施設やその他のスペースの整備について、またそれに合わせた運用方法について検討していく必要がある。 ○団体による活動について、チラシ・ポスターの設置依頼で来館される団体に図書館施設の利用についての情報提供や普段、図書館施設を利用して活動されている団体に学習の成果の発表することについての提案も必要であるとする。 ○図書館で作品等を公募する際は、「図書館の資料を参考に作った作品」などのテーマを設定し、図書館資料の紹介から利用にまで繋げる展示内容とするなどの工夫をすることも必要であるとする。																
事業内容	内容		上半期					下半期					進捗	詳細			
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3	
	市民が学習成果を発表するイベント等の検討	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	やや遅れている		
		実績				*	*	*									
	電子図書館へ「調べる学習作品コンクール優秀作品」の資料登録	年間計画							*	*					今後実施予定		
		実績															
	対面朗読ボランティア初級養成講座の開催	年間計画							*	*					今後実施予定	10月毎週土曜日開催(全4回)	
		実績															
	対面朗読ボランティアによる対面朗読の実施	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり		
		実績	*	*	*	*	*	*									
	読み語り講座の開催	年間計画							*	*					予定どおり	9/27・11/7開催	
		実績					*										
	図書音楽フェスの開催	年間計画							*	*					今後実施予定		
		実績															
	花ボランティアによる館内等の花による飾り付け	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり		
		実績	*	*	*	*	*	*									
		年間計画															
		実績															
成果	成果指標もしくは成果品		R5年度実績					R6年度実績					R7年度中間実績	R7年度目標値	調査方法		
	対面朗読ボランティアの新規登録者数		16人					18人					今後実施予定	20人	対面朗読ボランティア初級養成講座受講者のボランティア登録者数		
	読み語り講座受講者数 * 延べ人数		34人					58人					(第1回)11人	55人	読み語り講座の受講者数 * 延べ人数		
	図書館音楽フェスへの参加者数		-					3組					今後実施予定	10組	市民の学習成果を発表するイベントへの参加者数		

令和7年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	図書館と接点がない保護者に対して興味を持ってもらう取組															
事業年度	令和7年度(単年度)	令和7年度事業費	0千円	担当係・担当者	サービス二係	原口										
関連する基本目標/方向性	②子どもの成長に役立つ図書館		方向性①:子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくります。													
事業概要 (目的・内容)	乳幼児を含む子ども達が楽しめる資料やイベント等があることを知ってもらい、図書館に足を運んでもらうために、保護者である子育て世代に図書館の情報を広く届くようにする。 ①「佐賀市公式LINE」を利用した子育て世代への情報配信 ・定例おはなし会の情報発信 ・館内チラシ・ポスター・ホームページと県立図書館経由の「ワイヤーママ」だけでなく、「佐賀市公式LINE」で情報配信をする。 ・新着「赤ちゃん絵本」の案内 4か月に一度程度、新たに受け入れた赤ちゃん絵本等の紹介をするとともに、利用登録等についても案内する。 ②赤ちゃん絵本ガイドブックの配布 図書館各館で配布するとともに、健康づくり課が行っている乳児家庭全戸訪問の際に配布する。															
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・現在のおはなし会の案内は、館内チラシ・ポスター・ホームページと県立図書館経由の「ワイヤーママ」のみである。図書館にある程度関心がある人しか知ることができないので、「佐賀市公式LINE」で子育て世代への情報配信をする。															
事業内容			上半期					下半期					進捗	詳細		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
	定例おはなし会の案内	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	
		実績	*	*	*	*	*	*								
	新着「赤ちゃん絵本」の紹介	年間計画		*					*				*	予定どおり		
		実績		*												
	赤ちゃん絵本ガイドブックの配布	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	
		実績	*	*	*	*	*	*								
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
	年間計画															
	実績															

成果	成果指標もしくは成果品	R5年度実績	R6年度実績	R7年度中間実績	R7年度目標値	調査方法
	定例おはなし会の参加者	1,624	1,687	618※	1,800	
	23歳～39歳(子育て世代)の登録者数(市内在住)	17,373	17,111 (基準日R7.3.31)	16,756 (基準日R7.8.31)	17,600	
				※8月末時点		

令和7年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	高齢者が健康で生きがいを持って生活するために図書館ができることの検討																	
事業年度	令和7年度(単年度)			令和7年度事業費			0千円			担当係・担当者			サービス係			内山		
関連する基本目標/方向性	③多様な人々が集う図書館						方向性②: 日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。											
事業概要 (目的・内容)	高齢社会において、高齢者とその家族や関係者等が、高齢者が健康で生きがいを持って生活するための情報を得る場として、図書館が果たす役割は重要だと考えられる。 健康維持や生きがいづくり、介護や認知症サポートなど、高齢者等に提供できる情報について検討する。 情報を提供する方法について検討し、可能なものについて実施する。																	
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	高齢者に向けた情報のほか、家族や関係者等、高齢者を支える人も視野に入れて、提供する情報を検討する。																	
事業内容	内容		上半期					下半期					進捗	詳細				
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3		
	他の公共図書館等での事例等の調査	年間計画	*	*	*	*										ほぼ予定どおり		
		実績	*	*														
	調査等の内容を参考に具体案の検討	年間計画			*	*	*	*							ほぼ予定どおり			
		実績			*													
	検討した案から展示等可能なものを実施	年間計画				*	*	*	*						遅れている	1月以降に実施予定		
		実績																
		年間計画																
		実績																
		年間計画																
		実績																
		年間計画																
		実績																
		年間計画																
		実績																
成果	成果指標もしくは成果品		R5年度実績			R6年度実績			R7年度中間実績			R7年度目標値			調査方法			
	テーマ展示等情報発信の実施回数		-			-			今後実施予定			1回						

令和7年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名		電子図書館システム運用管理事業																		
事業年度		令和7年度～					令和7年度事業費					4,551千円			担当係・担当者		総務企画係		若松	
関連する基本目標/方向性		①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館/②子どもの成長に役立つ図書館/③多様な人々が集う図書館					①～②:くらし・しごと・趣味・地域の課題解決に貢献します。/②～①:子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。/③～②:日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。													
事業概要 (目的・内容)		「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と、「郷土関連資料(行政資料・郷土資料・市民の学習成果等)の整理・公開」を目的に「佐賀市電子図書館」を運営する。 特に子ども(小学生～高校生)向けの資料を中心に提供を行う。 【スケジュール】 試験運用期間:令和5年6月～令和7年5月 本運用:令和7年6月～																		
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など		○商用電子書籍は紙の書籍に比べて2～3倍高額かつ利用期限があるものが多いため、補助金(地域生活支援促進事業)を活用するとともに、 他の財源の調査や寄附による購入によって資料の充実を図っていく。 ○商用電子書籍とは別に、郷土関連資料(子どもの学習に役立つ郷土資料・行政資料・市民や子どもの学習成果)の登録を継続して実施する。 また、大規模改修中・大規模改修後に図書館内部で行政資料等の電子書籍化を進める体制づくりを検討する。																		
事業内容	内容		上半期					下半期					進捗	詳細						
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3				
	サービスの運用	年間計画	*	*	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	予定どおり	令和7年6月から本運用					
		実績	*	*	*	*	*	*												
	利用者データ登録・更新作業 ・学校利用者及び一般利用者	年間計画	*	*	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	予定どおり	一般分はサービス1係と連携して作業を行う。 【学校】随時分:学校教育課から連絡があった場合に随時作業。 3月:新小学校1年生分のデータ登録 4月:卒業生(中学3年生)分のデータ削除 【一般】毎週水曜日及び毎月最終木曜日					
		実績	*	*	*	*	*	*												
	商用電子書籍の選書・発注	年間計画	*	*	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	予定どおり	サービス2係児童担当が選書を行う。					
		実績	*	*	*	*	*	*												
	独自資料(郷土関連資料)登録	年間計画	*	*	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	予定どおり	サービス2係レファレンスサービス担当と連携して登録作業を行う。					
		実績	*	*	*	*	*	*												
	利用統計データの取得	年間計画	*	*	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	予定どおり						
		実績	*	*	*	*	*	*												
	本運用に向けた要綱作成	年間計画	*	*										予定どおり	電子図書館の運営に関する要綱を作成する。					
		実績	*	*																
	利用促進に関する取組 (学校への活用事例展開等)	年間計画	*	*	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	予定どおり	・学校図書館の研修会への参加 ・各学校の教職員向け研修への参加等を検討					
		実績	*	*	*	*	*	*												
	独自資料の充実に向けた取り組み	年間計画		(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	予定どおり	郷土関連資料の電子化、整備について、大改修中・改修後の体制の検討を行う。					
		実績	*	*	*	*	*	*												
商用電子書籍の充実に向けた財源の調査等	年間計画	*	*	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	予定どおり							
	実績	*	*	*	*	*	*													
成果	成果指標もしくは成果品		R5年度実績					R6年度実績					R7年度中間実績	R7年度目標値	調査方法					
	商用電子書籍の閲覧回数		7,126回					12,841回					10857回 ※8月末時点	18,000回 (1,500回×12ヶ月)	統計データの取得					
	郷土関連資料の閲覧回数		3,873回					4,724回					1267回 ※8月末時点	4,800回 (400回×12ヶ月)	統計データの取得					
	本運用に向けた要綱作成		-					-					R7.5末までの要綱施行 R7.6からの要綱制定	R7.5末までの要綱施行						

令和7年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名		大規模改修事業(R7年度:基本設計策定・実施設計着手)																
事業年度		令和5年度～令和10年度			令和7年度事業費			136,567千円			担当係・担当者		総務企画係		増本・峰松			
関連する基本目標/方向性		④市民と共に変革を進める図書館				方向性①:限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。												
事業概要 (目的・内容)		図書館本館の建築物や設備の劣化等による不具合を解消するために、全体的な改修を行う。 あわせて、バリアフリー化やデジタル化による利便性の向上や、滞在できる居場所づくりに向けたレイアウトの見直しなど、 これからの図書館に求められる施設機能向上のための改修にも取り組み、「SAGA LIBRARY PARK」を体現する。 【事業スケジュール】 ○令和7年10月以降 ～ 令和8年度中を予定 実施設計業務 ○実施設計完了次第 ～ 令和10年度中を予定 整備工事 ○令和10年度中を予定 完成及び開館																
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など		○工事の方針の早急な決定が必要（図書資料の仮移転先、代替サービス） ○リニューアル後の運営体制の検討が必要（自動車図書館、分館のあり方、開館時間等） ※現職員体制での事務の見直しレベルではなく、抜本的な検討を要す ○人件費高騰、物価高騰に伴い、工事実施時には費用が大きく上振れする恐れあり(市村記念体育館、アサヒビール鳥栖工場等) ○資材調達の都合、人材不足、労働基準法改正(働き方改革)の影響等による工期延伸の恐れあり																
事業内容		内容		上半期					下半期					進捗	詳細			
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3	
		基本設計事務	年間計画	*	*	*	*	*	*							予定どおり	建築住宅課と連携しながら事務を実施	
			実績	*	*	*	*	*	*									
		実施設計予算事務	年間計画				*	*	*							予定どおり	建築住宅課と連携しながら事務を実施	
			実績				*	*	*									
		実施設計契約事務	年間計画							*	*	*					建築住宅課と連携しながら事務を実施	
			実績															
		実施設計事務	年間計画										*	*	*		建築住宅課と連携しながら事務を実施	
			実績															
		リニューアル後の運営体制の検討	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	有識者との意見交換、情報収集 サウンディング調査等の反映
			実績	*	*	*	*	*	*									
		仮移転先調整事務	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	関係部局・機関と連携しながら事務を実施
			実績	*	*	*	*	*	*									
			年間計画															
			実績															
成果		成果指標もしくは成果品			R5年度実績			R6年度実績			R7年度中間実績			R7年度目標値		調査方法		
		基本設計の完成			—			委託業者の選定 基本設計に着手			—			基本設計の完成		—		
		実施設計の着手			—			—			—			委託業者の選定		—		
		リニューアル後の運営体制の決定			—			サウンディング 調査の実施			—			方針の決定		—		

令和7年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	業務継続性の向上や危機管理に関する取組															
事業年度	令和6年度～			令和7年度事業費			445千円			担当係・担当者			総務企画係 若松			
関連する基本目標/方向性	④市民と共に変革を進める図書館						方向性①:限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。									
事業概要 (目的・内容)	サービスの継続性を高め、災害時や大規模改修時の変化に対応できるように、図書館本館の設備のDXを検討する。 【事業スケジュール】 (R6年度) 電話設備DXの計画検討 (R9年度以降) リニューアルに合わせて 電話設備のDX実施															
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	○大規模改修事業(リニューアル)の時期・内容に影響を受ける。 ○大規模改修の工事に入る前に実施するため、事前の予算化が必要。 ○先進事例や新サービスの情報収集が必要。															
事業内容	内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
	電話設備DX	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	・電話自動応答の実施 ・主装置のクラウド化の検討 ・電話自動送信の検討 ・内線スマートフォン化の検討
		実績	*	*	*	*	*	*								
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
成果	成果指標もしくは成果品		R5年度実績			R6年度実績			R7年度中間実績			R7年度目標値		調査方法		
	電話設備DX計画策定		-			電話自動応答の実施			調査および庁内会議			計画策定				

佐賀市立図書館大規模改修事業

～新しい図書館 SAGA LIBRARY PARK～

1. 基本設計の考え方

佐賀市の未来を育む図書館

- ・人が集まり、まちに賑わいを生み、訪れる人の体験を豊かにする地域の交流拠点にします
- ・周辺環境と一体的に感じられるようにします
- ・30年先も魅力的な場所であり続けます

これからの時代に求められる居場所 (サードプレイス)

- ・利用者の多様な居場所をつくります
- ・安心してすごせる場をつくります
- ・「本を好きになるきっかけ」を生み出す場所にします

2. 基本構想・基本計画を踏まえた「市民の声」への対応

【屋内】

- ・自由にのびのびと過ごせる空間をつくります
- ・様々なイスやベンチを配置します
- ・子供を連れて過ごしやすい環境を整えます
- ・バリアフリーに配慮した動線を整備します

【屋外】

- ・出入口の変更などにより、公園と図書館の行き来を行いやすくします
- ・北駐車場からの利便性を向上させます
- ・公園側エリアでの屋外イベントへの環境整備を行います

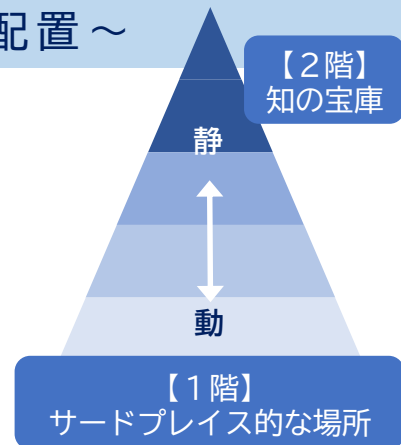
3. 1階と2階の考え方 ～空間特性を踏まえ、最適な機能を配置～

【1階】これからの時代に求められる図書館を育むサードプレイスのな場所

- ・公園や外部環境と接する1階は、周辺とつながり、賑わいのある空間をつくります
- ・多様な人が自由に集い、のびのびと過ごせる「サードプレイスのな場所」とします

【2階】これまでの図書館の魅力を引き継ぐ知の宝庫

- ・静かな環境をつくりやすい2階は、集中して本と向き合える空間とします
- ・本を中心としたフロアにし、「知の宝庫」としての役割を担います



4. 地下整備の方針

1階、2階を利用者スペースとして使用。職員スペース（会議室・倉庫・更衣室など）は地下に移します。

【現在の図書館】

閲覧スペース、多目的ホール、大集会室、和室、ギャラリー、研修室、学習室、ボランティア室

閉架書庫

事務室、職員会議室、サーバ室、更衣室、休憩室、倉庫、ハイビジョン制作室

2階

閲覧スペース、対面朗読室、エントランスホール、喫茶室

カウンター（メイン、レファレンス、児童）、職員作業室、守衛室

1階

駐車場、屋外トイレ

自動車図書館・資料搬送車駐車場、団体貸出室、清掃員控室、ごみ置き場

地下

【新しい図書館】

閲覧スペース、学習室

閉架書庫

カウンター、事務室、サーバ室

閲覧スペース、多目的ホール、創作工房、対面朗読室、ボランティア室、喫茶室

閉架書庫

カウンター、事務室、守衛室

自動車図書館・資料搬送車駐車場、清掃員控室、ごみ置き場、職員会議室、職員作業室、更衣室、休憩室、倉庫、運営関係車両駐車場（警備、清掃、喫茶室納入業者、ビルメンテナンス業者等）

利用者向けスペース

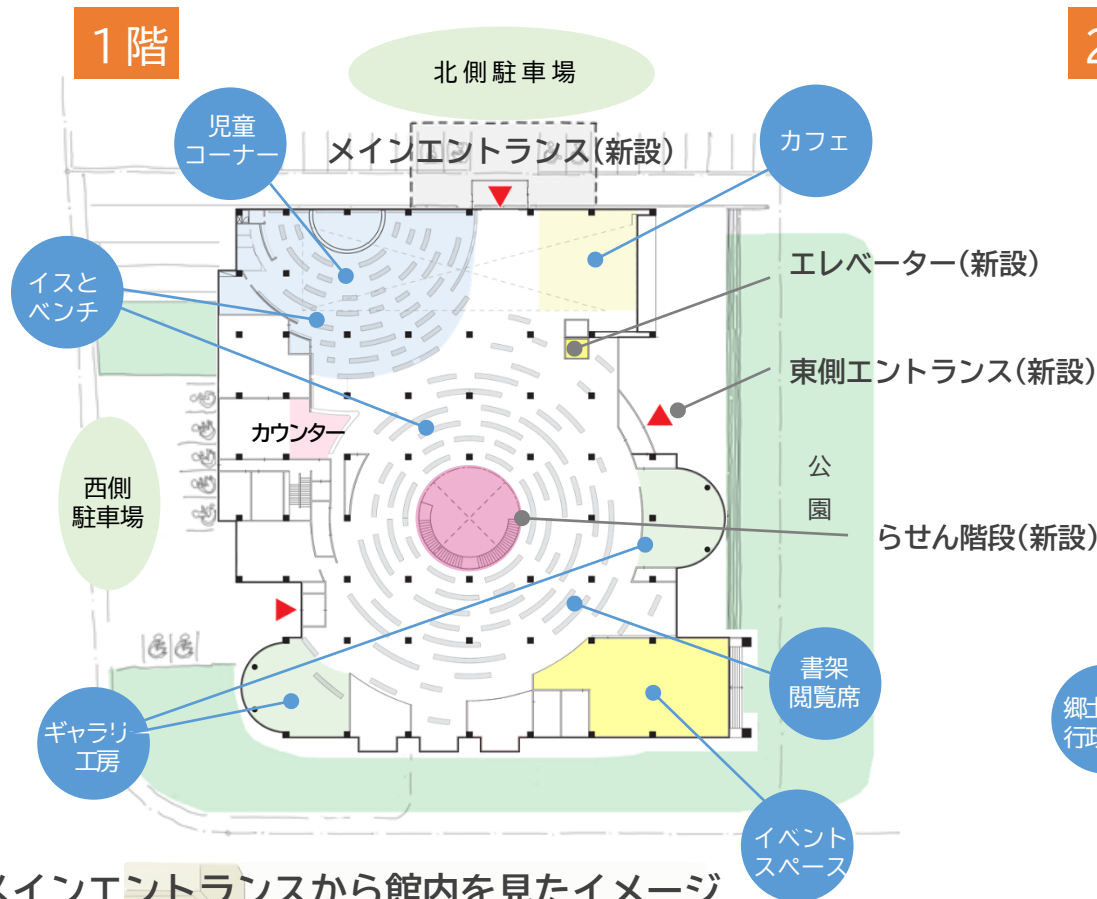
閉架書庫

職員用スペース

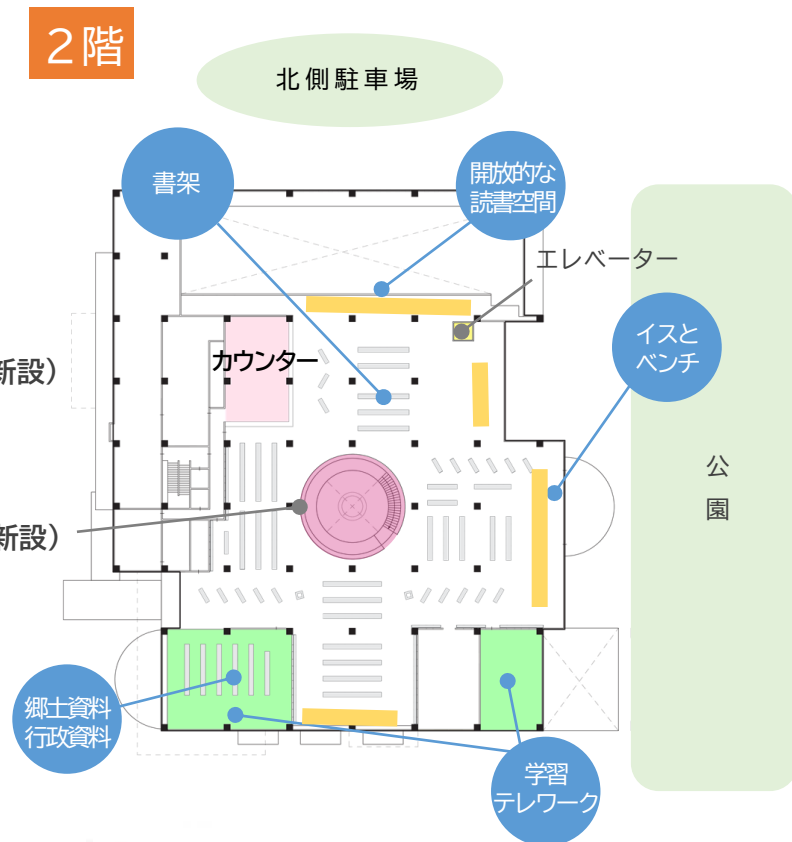
新しい図書館「SAGA LIBRARY PARK」の館内イメージ

「本を好き」にさせてくれる体験にあふれた図書館

1階



2階



メインエントランスから館内を見たイメージ



らせん階段周辺のイメージ



5. 図書館公園側のイメージ



・公園との一体感の創出

図書館の公園側エントランスから緩やかな芝生の丘が、公園に向かって広がり、エントランスの北側にはテラスを設けることで、一体的な利用を想定。

図書館大規模改修の今後の進め方

○基本設計(～令和7年9月末)

○実施設計(令和7年度～令和8年度)

○改修工事(令和9年度～令和10年度) ○完成・開館(令和10年度中)

○工事期間中の運用方針の検討・サウンディング調査(令和7年度以降継続)

新しい図書館「SAGA LIBRARY PARK」は、

自由に、のびのびと、気持ち良い時間を過ごせる場所を目指します。